

# 【事業報告書】



## 令和4(2022)年度 事業概要

令和4(2022)年度の地域福祉活動は、令和2(2020)年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大により制限を受けてきましたが、地域ふれ愛福祉サロンなどは、感染対策を講じることにより、徐々に再開され、コロナ禍で途絶えていた、人とひととのつながりの再構築に向けた取り組みが動き出しました。

このような状況の中、令和4(2022)年度は、本会の第7次地域福祉推進計画(2020年度～2024年度の5年間)の中間年として、同計画の理念である「誰もが自分らしく安心して暮らしていけるまちづくり」の実現に向け、「地域の福祉力を高めるまちづくり」、「みんなが主役のまちづくり」、「みんなが考え、支えあえる仕組みづくり」の3つの基本方針に基づき、(1)身近なエリアでの見守り・支えあいの基盤づくり(2)多様な活動主体が出会い、つながる仕組みづくり(3)多様な主体が連携・協働できる総合相談支援体制の推進(4)障がいのある人など生活課題を抱える人への支援を基盤とした共生のまちづくり(5)地域福祉推進のための体制整備の5つの推進目標を掲げ、地域福祉を推進する諸事業の取り組みを推進しました。

まず、第1の「身近なエリアでの見守り・支えあいの基盤づくり」については、つどいの場や自治会等において、地域で見守りが必要な人の情報共有や生活課題等について話し合う場である「ご近所会」づくりを推進するため、普及啓発冊子『気かけあう関係を広めよう!「ご近所会」のすすめ』を活用するとともに、市民が「ご近所会」の実践報告等を通じて、地域の見守り・支えあいについて考える機会として「地域支えあいフォーラム」を開催するなど周知啓発を進めることにより、「ご近所会」の取り組みを市内55か所に広めることができました。

第2の「多様な活動主体が出会い、つながる仕組みづくり」については、介護サービスの利用や地域の支え合い等だけでは解決が難しい「高齢者等のごみ捨て」について、介護専門職や民生児童委員、自治会長、行政職員などで構成する「ごみ捨て支援検討会」で検討していますが、令和5(2023)年度も引き続き具体的な支援に向けた検討を進めます。また、コロナ禍におけるボランティアの横のつながりや、ボランティア活動の啓発を進めるため、新しいつながりづくりとして「スマホ☆カフェ」の実施や、「たみとものわ」、「ボランティア交流会」を開催することで、ボランティア活動者間や、新たな市民とのつながりづくりにも取り組んでいます。

第3の「多様な主体が連携・協働できる総合相談支援体制の推進」については、令和3(2021)年度から伊丹市が、相談支援、参加支援、地域づくり支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業の移行準備事業を実施するにあたり、市と本会に相談支援コーディネーターが配置されるとともに、本会には更に、参加支援コーディネーターに加え地域づくり支援コーディネーターが配置されました。地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、市の11の課と本会地域福祉推進室の「地域福祉推進担当」、「福祉権利擁護センター」、「基幹型地域包括支援センター」、「地域生活支援センター」の主査が包括化支援担当者として、包括化支援担当者会議に参画しました。当該

事業については、令和5(2023)年度から本格的に実施されることから、市とともに、多機関協働による相談支援体制の構築に向けた取り組みを進めていきます。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響により収入が減少した世帯に対しては、生活福祉資金特例貸付の業務を行う中、生活に困窮されている世帯に対する支援として、特例貸付を利用した世帯の生活状況を把握し、今後の支援の在り方を検討するため、伊丹市とともにアンケート調査を実施しました。調査の結果、無料食糧支援に関するニーズが高かったことから、無料食糧支援事業を実施し、配布者に面談やアンケートなどを通じて生活困りごとを確認するなど、孤立させない取り組みを行いました。

第4の「障がいのある人など生活課題を抱える人への支援を基盤とした共生のまちづくり」については、令和3(2021)年度から、学識経験者、地域住民、ボランティア、行政・関係団体、専門職などの委員で構成する「障害者福祉センター運営検討委員会」において、障がいのある人もない人も、すべての市民が共につどい、交流を図る「共生型センター」である「障害者福祉センター・障害者デイサービスセンター」のあり方や取り組みについて継続して協議し、いただいたご意見は令和5(2023)年度からの事業内容や運営に取り入れました。また、障害者福祉センターでは、コロナ禍においても、感染防止対策を徹底した上で、障がいのある人の自立生活を支援する講座や教室を継続的に実施するとともに、障害者デイサービスセンターについては、令和4(2022)年7月12日から令和5(2023)年3月25日まで、施設の大規模改修工事が実施されましたが、実施場所を障害者福祉センターに移動することで安全に継続した支援を実施することができました。

第5の「地域福祉推進のための体制整備」については、コロナ禍による社会情勢の変化や、少子高齢化、人口減少、単身世帯の増加等、社会構造の変化が急激に進む中、本会の活動指針となる「第7次地域福祉推進計画(発展計画)」の進捗状況について職員間で課題を抽出しました。令和5(2023)年度は、課題分析を行い、第8次地域福祉推進計画(発展計画)の検討につなげていきます。また、地域福祉を推進するための人材確保・育成プロジェクトチームにより人材育成方法を検討し、多くの市民・活動主体とつながるための広報のあり方を検討する広報戦略プロジェクトチームにより、本会のホームページ刷新の検討を行いました。今後も、本会の多岐にわたる事業の周知方法を検討するとともに、事業推進を担う人材の確保と育成については、最重要課題として取り組みを進めてまいります。

最後に、本会としましては、コロナ禍が長期化したことによる様々な困難な課題を新たに抱えた人や、地域で孤立しがちな状況にある人と、できるだけ早期につながるための方策や課題解決に向けた取り組み、社会参加の仕組みづくりについて、地域住民、団体や機関、様々な活動主体の皆さまとともに考えることにより、「誰もが自分らしく安心して暮らしていけるまちづくり」をめざして、地域福祉活動の推進に取り組んでまいります。

## 推進目標 1 身近なエリアでの見守り・支えあいの基盤づくり

### 1. 身近な地域での見守り・支えあい活動の推進

#### (1) 「ご近所あんしんネットワーク」事業の見直しと推進

##### 1) ご近所会の推進

つどいの場や自治会等において、地域で見守りが必要な人の情報共有や生活課題等について話し合う場づくりと、見守り・支えあい活動の推進をめざし、つどいの場等で、気になる人の情報を意識的に共有する「ご近所会」の推進に取り組みました。

・「ご近所会」の実施カ所数：55ヶ所

##### 2) 地域支えあいフォーラムの実施

地域の見守り・支えあいについて話し合う場「ご近所会」の実践報告等を通じて、市民が地域の見守り・支えあいについて考える機会として開催しました。

| 実施日   | 内 容  | 参加人数  |
|-------|--|-------|
| 3月24日 | ○基調講演「気にかけあう関係をひろげよう！『ご近所会』のすすめ」<br>【講師】関西学院大学 人間福祉学部 教授 藤井 博志 氏<br>○パネルディスカッション「“気づき”をひろげ、地域で気にかけあうために～『ご近所会』の実践報告～」<br>【コーディネーター】関西学院大学 人間福祉学部 教授 藤井 博志 氏<br>【実践報告者】地域ふれ愛福祉サロン「長沢こたちゃん・ゆきちゃん」 神谷 政代 氏<br>高縄手自治会 会長 古澤 小夜子 氏<br>みどりっ子食堂「大鹿」実行委員会 代表 武田 伸晃 氏 | 約350人 |

##### 3) 伊丹市共生福祉社会フォーラムの開催

「共生福祉社会の実現をめざして～つながるって楽しい！支え合いの地域づくり～」をテーマに、伊丹市との共催で開催しました。

基調講演「共生福祉社会の実現をめざして～安心で楽しい地域づくり、つながりづくり～」

講師：ご近所福祉クリエーター酒井 保 氏

座談会「つながるって楽しい！支え合いの地域づくり」

コーディネーター：ご近所福祉クリエーター 酒井 保 氏

登壇者：森近 勝行 氏（稲野自治会 会長）

原田 明 氏（西鈴原自治会 会長）

井村 正明 氏（みどりOTON-A会 代表）

#### (2) こんにちは赤ちゃん事業

(伊丹市委託事業)

4,779,291円

おおむね生後3ヶ月以内の乳児がいるすべての家庭を民生委員児童委員が訪問し、親子の心身の状況や養育環境の把握を行い、併せて子育て初期の不安や悩みを持つ子育て家庭に対し、適切な情報やサービス等の提供を行うことを目的とした「こんにちは赤ちゃん事業」を市委託事業として実施しました。（令和4(2022)年度対象数：1,350人）

## 訪問結果

(単位：件)

| 訪問受入   | 訪問辞退 | 留守 | 転居 | その他 | 訪問未報告 | 合計     |
|--------|------|----|----|-----|-------|--------|
| 1, 256 | 32   | 34 | 10 | 18  | 0     | 1, 350 |

※出生数は、令和4(2022)年2月から令和5(2023)年1月(12ヶ月分)、  
訪問結果は令和4(2022)年4月から令和5(2023)年3月までの数字となっています。

## (3) 友愛電話訪問事業〔共同募金配分金充当〕

216, 336 円

ひとり暮らし高齢者の安否の確認と孤独感・不安感を解消するため、ボランティアの協力を得て電話による友愛訪問をおおむね週1回実施しました。

## 1) 訪問実績

| 区 分         | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 対 象 者       | 40人         | 32人         | 37人         |
| 実 施 日 数     | 239日        | 237日        | 238日        |
| 訪 問 回 数 (延) | 1, 595回     | 1, 500回     | 1, 575回     |
| ボランティア数     | 44人         | 40人         | 38人         |
| ボランティア数(延)  | 769人        | 798人        | 791人        |

## 2) 友愛電話訪問ボランティア研修会

| 実施日  | 参加者 | 内 容   |
|------|-----|---|
| 3月1日 | 19人 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修：「電話訪問スキルアップ研修～傾聴とは～」</li> <li>講師：藍野大学短期大学部 学長 足利 学 氏</li> <li>・意見交換「友愛電話訪問事業を通して感じている事や困っている事」等</li> </ul> |

## (4) 緊急通報システム(命のペンダント)事業(伊丹市委託事業)

1, 880, 968 円

虚弱なひとり暮らしの高齢者等に緊急事態が生じた場合に、あらかじめ依頼している近隣協力員(利用者1人に対して2～3人)へ通報され、救援が求められるよう緊急通報システム事業を実施し、月1回、機器の作動テストを兼ね、安否の確認と孤独感の解消を図るため電話による友愛訪問を行いました。

また、令和2(2020)年度より携帯電話回線を使用したシステムの運用を開始しています。

## 1) 設置台数

(単位：台)

| 区 分         | 既設置数 | 新規設置数 | 取り外し数 | 年度末設置数 |
|-------------|------|-------|-------|--------|
| 令和2(2020)年度 | 471  | 35    | 80    | 426    |
| 令和3(2021)年度 | 426  | 37    | 71    | 392    |
| 令和4(2022)年度 | 392  | 29    | 74    | 347    |

## 2) 設置者の区分別設置数

(単位：台)

| 区 分         | 独 居 | ねたきり | 高齢世帯 | 重度障がい | その他 | 合 計 |
|-------------|-----|------|------|-------|-----|-----|
| 令和2(2020)年度 | 377 | 0    | 22   | 9     | 18  | 426 |
| 令和3(2021)年度 | 344 | 0    | 20   | 11    | 17  | 392 |
| 令和4(2022)年度 | 308 | 0    | 21   | 5     | 13  | 347 |

## 3) 作動テスト・友愛訪問

| 区 分         | 実施日数 | テスト依頼<br>友愛訪問 | 不在者に対する近隣<br>協力員等確認依頼 | テスト通報による<br>監視センター確認 |
|-------------|------|---------------|-----------------------|----------------------|
| 令和2(2020)年度 | 239日 | 4,762人        | 258件                  | 4,388回               |
| 令和3(2021)年度 | 237日 | 4,358人        | 331件                  | 4,208回               |
| 令和4(2022)年度 | 238日 | 3,737人        | 192件                  | 3,684回               |

## 4) 通報等の件数

(単位：件)

| 区 分         | 通報件数 | 受 信 内 容 |       |       |      |      |    |
|-------------|------|---------|-------|-------|------|------|----|
| 令和2(2020)年度 | 112  | 内容：急病   | 10・転倒 | 16・不安 | 0・誤報 | 37・他 | 49 |
| 令和3(2021)年度 | 87   | 内容：急病   | 13・転倒 | 11・不安 | 0・誤報 | 25・他 | 38 |
| 令和4(2022)年度 | 56   | 内容：急病   | 6・転倒  | 1・不安  | 0・誤報 | 22・他 | 27 |

※誤報とは、機器の異常発信と発信意識なく通報された件数

## 5) 協力員等（各年度末現在）

(単位：人)

| 区 分         | 近隣協力員数 | 友愛訪問ボランティア延人数 |
|-------------|--------|---------------|
| 令和2(2020)年度 | 798    | 769           |
| 令和3(2021)年度 | 692    | 798           |
| 令和4(2022)年度 | 935※   | 791           |

※近隣協力員数について、令和3(2021)年度までは1人の近隣協力員が複数利用者の近隣協力員を担当する場合も1名でカウントしていたが、令和4(2022)年度より担当利用者数分の人数カウントに変更。

## (5) 伊丹市高齢者地域見守り協定事業

98,266円

「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまち・いたみ」を目指して、地域住民だけでなく、さまざまな事業所と連携した見守り活動のネットワークを構築することを目的に「地域見守り協定事業」を実施しました。

協力いただける企業・事業者が登録を行い、気になる世帯を発見した際に、本会に連絡をいただき、各関係機関と連携して速やかに対応し、ひとり暮らし高齢者などの見守り強化に取り組みました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年実施している事業所連絡会は中止しました。

今後も、登録事業所の拡大と、気になる世帯を発見した時に迅速に対応できるよう、各関係機関等との連携を強化し、見守り体制の推進に取り組みます。

- 1) 伊丹市高齢者地域見守り協定事業所連絡会  
 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。

2) 登録事業所件数 (令和5年3月31日現在)

|      |      |     |     |      |          |
|------|------|-----|-----|------|----------|
| 宅配   | 飲食   | 新聞  | 郵便局 | 金融機関 | 介護事業所    |
| 21   | 21   | 18  | 18  | 24   | 30       |
| コンビニ | スーパー | 販売店 | 病院  | その他  | 合計(前年度)  |
| 20   | 12   | 52  | 17  | 33   | 266(270) |

3) 通報件数…19件

|       |         |          |
|-------|---------|----------|
| 通報内容  | 登録事業所から | 未登録事業所から |
| 安否確認  | 6       | 0        |
| 認知症相談 | 8       | 1        |
| その他相談 | 4       | 0        |

※その他相談とは、安否確認や認知症相談以外に、登録事業所が来店者等について気になると相談があったもの

4) 対応件数

|      |   |                     |    |
|------|---|---------------------|----|
| 救急搬送 | 0 | 家族・関係機関等への<br>連絡・連携 | 14 |
| 死亡確認 | 0 | 所在確認                | 2  |
| その他  | 3 | 合計                  | 19 |

5) 対応後の支援状況

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 関係機関による見守り               | 12 |
| 地域住民による見守り               | 1  |
| 関係機関と連携した見守り             | 1  |
| その他(死亡確認、継続支援の必要性がない場合等) | 5  |



## 2. 住民自治組織(地区社協・自治協議会等)と協働した地域福祉の基盤づくり

### (1) 住民自治組織との連携強化

住民自治組織が、住民共助の考え方を基本に、地域の特性を活かしながら、住民参加の福祉のまちづくり活動を創意と工夫をもって展開できるよう、各組織の重点活動や課題等の情報交換、他地区の様々な地域福祉活動の実践などを学ぶ研修会に取り組みました。

また、地域自治組織における地域ビジョン策定に向けた意見交換会等に参画し、福祉分野における協議進行の支援や各種情報提供、助言等を行いました。(鈴原地区・鴻池地区)

#### 1) 地区社協等研修会

対象：地区長(会長)・福祉部長・地域福祉ネット会議委員等

| 実施日   | 参加者 | 内容   |
|-------|-----|--|
| 3月29日 | 18名 | 視察先：倉敷市社会福祉協議会<br>内 容：暮らし輝く地域づくりに向けて <small>参画 えん</small> ~△は○になる~ |

#### 2) 活動助成金の交付

住民自治組織の活動を支援するため、活動助成金を交付しました。

地区社協等事業助成金(定額分) 1,500,000円(5地区)

地区社協等事業助成金(世帯数分) 1,684,000円(17地区)

自治会活動を支援するため、自治会連合会に活動助成金を交付しました。

184,000円(184自治会)

### (2) 住民の地域福祉活動への参加促進

#### 1) ふれ愛交流事業の実施支援

住民自治組織が地区内のひとり暮らし高齢者等を対象に実施する「ふれ愛バスツアー」に対し、バス借上料の一部を助成しました。(1地区)

#### 2) 地域福祉講座の実施

支えあい、助け合う“共に生きるまちづくり”について学習する機会として、住民自治組織はじめ地域団体等と協働し、地域福祉講座を開催しました。

実施団体：6団体

参加人数：118人

#### 3) その他の支援

住民自治組織や民生委員児童委員連合会の校区ブロック等の研修会や会合等に本会職員が出向き、地域福祉活動についての助言や説明等の支援を行いました。

### (3) 民生委員児童委員連合会との連携

民生委員児童委員連合会と連携しながら、地域の高齢者、障がい者、児童等に対する地域福祉活動を展開しました。

1) 事務局

民生委員児童委員連合会の事務局を地域福祉推進室で担当しました。

2) 助成金の交付

民生委員児童委員連合会に助成金を交付しました。(238人) 238,000円

(4) 地域福祉ネット会議の推進(伊丹市委託事業)

303,084円

1) 地域福祉ネット会議

地域住民が身近な福祉課題について話し合い、課題の共有や解決に向けた仕組みづくりなど、住民主体の地域福祉を推進していくために、事務局として16小学校地区で地域福祉ネット会議の開催を支援しました。今後も、各地区の実情に即した生活課題等について住民主体で協議できるよう、地域包括支援センター及び市とともに必要な支援を行っていきます。

地域福祉ネット会議開催状況

| 区分    | 開催回数 | 参加延べ人数 | 設置日         |
|-------|------|--------|-------------|
| 1 神津  | —    | —      | 平成14年5月7日   |
| 2 稲野  | 6回   | 121人   | 平成14年6月28日  |
| 3 笹原  | 5回   | 73人    | 平成14年8月26日  |
| 4 天神川 | 3回   | 87人    | 平成14年11月13日 |
| 5 昆陽里 | 4回   | 84人    | 平成15年2月5日   |
| 6 伊丹  | 4回   | 75人    | 平成16年1月22日  |
| 7 有岡  | 4回   | 112人   | 平成16年3月16日  |
| 8 鴻池  | 1回   | 27人    | 平成17年10月21日 |
| 9 鈴原  | 4回   | 55人    | 平成18年2月16日  |
| 10 緑丘 | 2回   | 47人    | 平成21年8月20日  |
| 11 花里 | 3回   | 34人    | 平成21年10月6日  |
| 12 瑞穂 | 2回   | 44人    | 平成23年4月4日   |
| 13 池尻 | —    | —      | 平成23年7月15日  |
| 14 摂陽 | —    | —      | 平成24年3月14日  |
| 15 南  | 2回   | 56人    | 平成26年3月24日  |
| 16 荻野 | 1回   | 12人    | 平成28年9月5日   |
| 計     | 41回  | 827人   |             |

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各小学校区とも開催中止となった回があります。

2) 地域福祉ネット会議を通じた活動支援

地域福祉ネット会議での協議から立ち上がった活動に対して、地域福祉推進担当(コミュニケーションワーカー兼生活支援コーディネーター)が支援を行いました。

| 校 区 | 団 体       | 日 程      | 内 容   |
|-----|-----------|----------|---|
| 有 岡 | 地域福祉ネット会議 | 1 月      | 「超高齢化社会でのまちづくりを考えるシンポジウム」を開催  |
| 鈴 原 | 地域福祉ネット会議 | 11 月～3 月 | すずはらお助け帖の作成   |
| 稲 野 | 地域福祉ネット会議 | 7～3 月    | ・ 地域の見守り推進をめざす自治会長と民生委員児童委員の意見交換会の実施<br>・ 「稲野小学校地区 地域の集い場」（地域活動リスト）の作成と全戸配布 |
| 花 里 | 地域福祉ネット会議 | 1 月      | 花里自治協議会役員を対象に、認知症理解啓発番組の視聴会を開催  |
| 昆陽里 | 地域福祉ネット会議 | 1 月      | ネット会議委員、昆陽里自治協議会役員を対象に勉強会「認知症について知ろう」を開催                                    |

(5) 地区ボランティアセンター（助けあいセンター）の実施（伊丹市委託事業）696,975 円  
 近隣共助の精神で、助けあいの輪を広げるため、住民自治組織と協働して地区ボランティアセンターを設置し、活動を支援しました。地域住民の社会参加、地域のつながりづくりなどの機会にもつながっている地区ボランティアセンターの今後のあり方について、今後、住民との協議を行っていきます。

1) 地区ボランティアセンター（助けあいセンター）設置状況

| 区 分 | 名 称                 | 設 置 日             | 窓口ボランティア<br>（住民コーディネーター）<br>設置日 |
|-----|---------------------|-------------------|---------------------------------|
| 1   | 稲 野 稲小地区助けあいセンター    | 平成 17 年 7 月 1 日   | 平成 19 年 8 月 1 日                 |
| 2   | 神 津 神津ボランティアセンター    | 平成 17 年 8 月 1 日   | —                               |
| 3   | 伊 丹 伊丹小地区助け合いセンター   | 平成 18 年 7 月 19 日  | —                               |
| 4   | 鴻 池 鴻池小地区助けあいセンター   | 平成 18 年 8 月 1 日   | 平成 19 年 8 月 1 日                 |
| 5   | 笹 原 笹原ボランティアセンター    | 平成 18 年 10 月 18 日 | 令和 3 年 7 月 1 日                  |
| 6   | 鈴 原 鈴原ボランティアセンター    | 平成 19 年 6 月 1 日   | 平成 21 年 6 月 2 日                 |
| 7   | 有 岡 有岡ハートボランティアセンター | 平成 19 年 9 月 10 日  | 平成 22 年 9 月 1 日                 |
| 8   | 天神川 天神川地区ボランティアセンター | 平成 20 年 7 月 15 日  | —                               |
| 9   | 花 里 花里地区ボランティアセンター  | 平成 24 年 2 月 5 日   | —                               |
| 10  | 摂 陽 せつよう助け愛センター     | 平成 25 年 12 月 2 日  | 平成 26 年 2 月 3 日                 |
| 11  | 昆陽里 こやのさとボランティアセンター | 平成 27 年 11 月 9 日  | 平成 27 年 11 月 9 日                |

※「窓口ボランティア」設置地区は、相談受付（地区によってはコーディネーターも実施）を登録ボランティアにて実施しています。

①ボランティア（サポーター）登録者数 （単位：人）

| 区分     | 男性              |                 | 女性              |                 | 合計              |                 |
|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
|        | 令和3<br>(2021)年度 | 令和4<br>(2022)年度 | 令和3<br>(2021)年度 | 令和4<br>(2022)年度 | 令和3<br>(2021)年度 | 令和4<br>(2022)年度 |
| 1 稲野   | 9               | 9               | 27              | 28              | 36              | 37              |
| 2 神津   | 10              | 8               | 29              | 26              | 39              | 34              |
| 3 伊丹   | 13              | 8               | 29              | 23              | 42              | 31              |
| 4 鴻池   | 5               | 4               | 16              | 16              | 21              | 20              |
| 5 笹原   | 10              | 10              | 18              | 18              | 28              | 28              |
| 6 鈴原   | 22              | 20              | 24              | 22              | 46              | 42              |
| 7 有岡   | 8               | 8               | 7               | 4               | 15              | 12              |
| 8 天神川  | 13              | 11              | 30              | 29              | 43              | 40              |
| 9 花里   | 17              | 16              | 28              | 29              | 45              | 45              |
| 10 摂陽  | 46              | 46              | 30              | 30              | 76              | 76              |
| 11 昆陽里 | 18              | 17              | 22              | 21              | 40              | 38              |
| 計      | 171             | 157             | 260             | 246             | 431             | 403             |

②相談・活動実績

| 区分     | 相談実績                |                     | 活動実績        |        |             |        |
|--------|---------------------|---------------------|-------------|--------|-------------|--------|
|        | 令和3<br>(2021)<br>年度 | 令和4<br>(2022)<br>年度 | 令和3(2021)年度 |        | 令和4(2022)年度 |        |
|        |                     |                     | 件数(延べ)      | 人数(延べ) | 件数(延べ)      | 人数(延べ) |
| 1 稲野   | 18                  | 13                  | 18件         | 34人    | 13件         | 23人    |
| 2 神津   | 3                   | 5                   | 2件          | 3人     | 2件          | 5人     |
| 3 伊丹   | 4                   | 5                   | 49件         | 49人    | 21件         | 21人    |
| 4 鴻池   | 13                  | 4                   | 13件         | 17人    | 4件          | 26人    |
| 5 笹原   | 13                  | 43                  | 28件         | 34人    | 62件         | 72人    |
| 6 鈴原   | 46                  | 37                  | 258件        | 301人   | 297件        | 325人   |
| 7 有岡   | 5                   | 3                   | 10件         | 10人    | 22件         | 22人    |
| 8 天神川  | 3                   | 2                   | 6件          | 6人     | 1件          | 1人     |
| 9 花里   | 9                   | 9                   | 9件          | 9人     | 7件          | 12人    |
| 10 摂陽  | 35※                 | 40※                 | 608件        | 699人   | 609件        | 656人   |
| 11 昆陽里 | 13                  | 12                  | 13件         | 404人   | 10件         | 300人   |
| 計      | 162                 | 173                 | 1,014件      | 1,566人 | 1,048件      | 1,463人 |

※摂陽小校区は、平成30(2018)年6月より、伊丹市介護予防拠点づくり事業を受託し運営。  
相談実績件数は、実際に活動につながった件数のみ。

③窓口ボランティア活動実績

| 区分   | 令和3(2021)年度 |          | 令和4(2022)年度 |          |
|------|-------------|----------|-------------|----------|
|      | 開設日数        | 活動人数(延べ) | 開設日数        | 活動人数(延べ) |
| 1 稲野 | 93日         | 180人     | 90日         | 184人     |
| 2 鴻池 | 114日        | 152人     | 129日        | 190人     |
| 3 鈴原 | 191日 ※1     | 481人     | 234日        | 591人     |
| 4 摂陽 | 107日 ※1     | 428人     | 231日        | 936人     |

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、共同利用施設が閉鎖となった期間は、電話転送等による窓口対応を図りました。

④その他

| 区 分 |     | 内 容   |
|-----|-----|---|
| 1   | 稲 野 | 登録ボランティア連絡会 2回  |
| 2   | 鴻 池 | 登録ボランティア連絡会 1回  |
| 3   | 笹 原 | 登録ボランティア連絡会 1回  |
| 4   | 鈴 原 | ・視察研修「NPO 法人なごみ」（西宮市）1回<br>・ボランティア部会 6回<br>・技能講習会 1回<br>・登録ボランティア連絡会 2回 |
| 5   | 有 岡 | 登録ボランティア連絡会 1回  |
| 6   | 摂 陽 | サポーター交流会 1回   |

2) 地区ボランティアセンター登録ボランティア全体研修会の開催

ボランティアを楽しく続けるために、ボランティアの“価値”や“やりがい”を再発見してもらうことをめざした研修会を開催しました。

| 実施日  | 内 容   | 参加人数 |
|------|---|------|
| 2月8日 | 講義「ボランティア活動の魅力再発見！」<br>講師：大阪ボランティア協会 主幹 青山 織衣 氏 | 31人  |

3) 地区ボランティアセンター住民コーディネーター研修会の開催

ボランティア同士がお互いのことを知り、実際のコーディネートに活かすために、“仲間づくり”や“つながりづくり”に役立つ手法を学ぶ研修会を開催しました。

| 実施日  | 内 容  | 参加人数 |
|------|--|------|
| 2月8日 | 講義「お互いのことを知って、より良い活動につなげよう！」<br>講師：大阪ボランティア協会 主幹 青山 織衣 氏 | 30人  |

(6) コミュニティプラザ館の運営

地域住民のふれあいの場として、稲野公園内のコミュニティプラザ館を南小学校地区自治協議会の協力を得て運営しました。（設置：平成9年3月）

<建築概要> ・床面積 54平方メートル ・構造 鉄骨造平屋建

### 3. 多様なつどいの場づくりの推進

(1) 地域ふれ愛福祉サロンの支援〔共同募金配分金一部充当〕

2,255,638円

見守りが必要な高齢者や障がいのある人等、地域住民が気軽に集い、ふれあいを通して生きがいづくり・仲間づくりの輪を広げる「地域ふれ愛福祉サロン」の活動を支援しました。食事会、喫茶、健康づくりなど、地域の特性に合わせた多様な内容で実施されています。

また、近年、介護予防の観点から実施数が増えている「いきいき百歳体操」についても、仲間づくりや見守り合いといった「地域ふれ愛福祉サロン」の要素を持つつどいの場が増えてきました。更に、参加者を限定せず、近隣にお住まいの方どなたでも自由に参加できる「場」として、「地域交流カフェ」が18ヶ所開設されています。

今後は、参加対象を限定した場だけでなく、年齢や障がいの有無等に関わらず、誰もが気軽に立ち寄ることができる共生福祉社会の実現に向けたつどいの場づくりを推進します。

#### 1) 地域ふれ愛福祉サロン設置状況

| 区 分         | サロン設置数  | 開催回数    | 設置地区数 |
|-------------|---------|---------|-------|
| 令和2(2020)年度 | 125 サロン | 933 回   | 17 地区 |
| 令和3(2021)年度 | 119 サロン | 1,115 回 | 17 地区 |
| 令和4(2022)年度 | 112 サロン | 1,777 回 | 17 地区 |

#### 2) 地域交流カフェ設置状況

| 区 分         | カフェ設置数 | 設置地区数 |
|-------------|--------|-------|
| 令和2(2020)年度 | 19 カフェ | 11 地区 |
| 令和3(2021)年度 | 18 カフェ | 10 地区 |
| 令和4(2022)年度 | 18 カフェ | 10 地区 |

#### 3) いきいき百歳体操設置状況

| 区 分         | いき百設置数 | 設置地区数 |
|-------------|--------|-------|
| 令和4(2022)年度 | 8 カ所   | 6 地区  |

※本会に登録している「いきいき百歳体操」の設置状況です。(いきいき百歳体操を通じた仲間づくり、見守り合いを意識したつどい場であることが登録条件です。)

#### 4) 地域ふれ愛福祉サロン参加者状況 (単位：人)

| 区 分         | 参加者数   | ボランティア数 | 合 計    |
|-------------|--------|---------|--------|
| 令和2(2020)年度 | 10,396 | 4,525   | 14,921 |
| 令和3(2021)年度 | 12,690 | 5,272   | 17,962 |
| 令和4(2022)年度 | 22,027 | 9,712   | 31,739 |

#### 5) 地域ふれ愛福祉サロン等代表者連絡会の開催

地域ふれ愛福祉サロン、地域交流カフェ、いきいき百歳体操の代表者を対象に、つどい場同士のつながりづくりや情報交換、つどい場の運営支援を目的に連絡会を開催しました。

| 実施日                             | 内 容  | 参加人数<br>(グループ数)   |
|---------------------------------|--|-------------------|
| 11月21日<br>11月22日<br>(2日間に分けて開催) | ○見守り・支え合い活動の推進「ご近所会」について<br>伊丹市社会福祉協議会 地域福祉推進室 飯島 奈央<br>○講話「フレイル予防について」<br>伊丹市地域包括支援センター 橋本 美保<br>○「つどい場でできる簡単体操」<br>あおい病院 リハビリテーション課 課長 野村 亮太 氏 | 123 人<br>(89グループ) |

6) サロンの“ネタ”おすそ分け会の開催

サロンで使えるレクリエーションを紹介し、サロン運営に活用していただくことを目的に開催しました。

| 実施日                            | 内 容   | 参加人数<br>(グループ数) |
|--------------------------------|---|-----------------|
| 12月8日<br>12月13日<br>(2日間に分けて開催) | 「思い出・おしゃべりカード体験会」<br>内容：ボランティアグループ「Dクラブあかずきんちゃん」が作製した回想法を用いたツールの紹介<br>講師：ボランティアグループDクラブあかずきんちゃん<br>代表 宮本 節子 氏 | 11人<br>(10グループ) |

7) 地域ふれ愛福祉サロン作品展の開催

サロン参加者とボランティアが協働して作品を製作することを通して、お互いの交流と親睦を図るとともに、広く市民に地域ふれ愛福祉サロン事業を啓発することを目的に開催。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。

8) サロン情報誌「お福分け・臨時号」の発行

新型コロナウイルス感染拡大防止対策が長期化する中で、自宅でも取り組むことができる活動の紹介やボランティアの皆様が持つ豆知識等、サロン参加者等に有益な情報をお届けすることを目的に情報誌を発行しました。

(発行回数：11回 発行部数：合計24,508部)

(2) おもちゃライブラリー事業〔共同募金配分金一部充当〕

63,899円

子どもたちが、手作りのおもちゃや大きなおもちゃでの遊びを通して社会性を伸ばすとともに、にノーマライゼーションを実現する場として、また、子育て中の親子を地域住民が温かく見守る場として住民自治組織と協働して実施しています。

令和4(2022)年度も、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、公園など屋外スペースを活用した季節行事を中心に実施しました。また、「天神川なかよし会」は9月から活動を再開しました。

1) おもちゃライブラリー実績（3地区）

| 区分     | 天神川小学校区         |                 | 南小学校区           |                 | 花里小学校区          |                 |
|--------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 実施場所   | 北野センター          |                 | 稲野公園内コミュニティガ'館  |                 | 寺本公園            |                 |
| 年度     | 令和3<br>(2021)年度 | 令和4<br>(2022)年度 | 令和3<br>(2021)年度 | 令和4<br>(2022)年度 | 令和3<br>(2021)年度 | 令和4<br>(2022)年度 |
| 開催日数   | 3日              | 14日             | —               | 1日              | 2日              | 2日              |
| 利用者数   | 77人             | 185人            | —               | 54人             | 約140人           | 約130人           |
| 子ども(延) | 36人             | 84人             | —               | —               | —               | —               |
| 保護者(延) | 34人             | 82人             | —               | —               | —               | —               |
| その他(延) | 7人              | 19人             | —               | —               | —               | —               |
| 1日平均利用 | 25.7人           | 13.2人           | —               | 54人             | 約70人            | 約65人            |
| ボランティア | 26人             | 99人             | —               | 18人             | —               | 20人             |
| 合 計    |                 |                 |                 |                 |                 |                 |
| 年度     | 令和3(2021)年度     |                 | 令和4(2022)年度     |                 |                 |                 |
| 開催日数   | 5日              |                 | 17日             |                 |                 |                 |
| 利用者数   | 約217人           |                 | 約369人           |                 |                 |                 |
| 子ども(延) | —               |                 | —               |                 |                 |                 |
| 保護者(延) | —               |                 | —               |                 |                 |                 |
| その他(延) | —               |                 | —               |                 |                 |                 |
| 1日平均利用 | 約43.4人          |                 | 約21.7人          |                 |                 |                 |
| ボランティア | —               |                 | —               |                 |                 |                 |

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、花里とんとん・南とんとんは季節行事のみ開催。

(3) こどもの居場所づくりへの支援

地域の子どもたち、高齢者、ボランティア等が集い、食事や勉強などを通して交流できる地域の居場所の立上げ・運営に参画し、住民自治組織や教育・福祉・商業など様々な分野の団体等が連携できる体制づくりを支援しました。

1) こども食堂等の実績

|   | 食堂名(校区)                 | 開設日      | 開催日                    | 開催場所                   | 実施内容               |
|---|-------------------------|----------|------------------------|------------------------|--------------------|
| 1 | さくらっこ食堂<br>(桜台)         | 2016年5月  | 毎月第2月曜日<br>17:00~20:00 | サンシティホール、<br>中野ぬくもりの郷他 | 食堂・学習              |
| 2 | あかね食堂<br>(稲野)           | 2016年12月 | 毎月第1木曜日<br>17:30~19:00 | アイ愛センター他               | 食堂                 |
| 3 | いたみっ子<br>だんらん食堂<br>(伊丹) | 2017年11月 | 毎月第3水曜日<br>16:30~19:00 | 中央コミュニティセンター<br>/千舟屋   | 食堂・学習・<br>レクリエーション |
| 4 | いきいき食堂<br>(瑞穂)          | 2019年6月  | 毎月第3火曜日<br>17:00~19:00 | いきいきプラザ                | 食堂                 |



|    | 食堂名 (校区)                              | 開設日              | 開催日                      | 開催場所               | 実施内容               |
|----|---------------------------------------|------------------|--------------------------|--------------------|--------------------|
| 5  | あじさい食堂<br>いたみ<br>(伊丹)                 | 2019年10月         | 毎月第2金曜日<br>16:00~19:00   | あじさいセンター<br>/ことば蔵  | 食堂・学習・<br>レクリエーション |
| 6  | あおぞら食堂<br>「エンゼル」<br>(南)               | 2020年6月          | 毎月第4火曜日<br>17:00~19:00   | 国際エンゼル協会           | 食堂                 |
| 7  | 寺本こども食堂<br>(花里)                       | 2020年12月         | 毎月第3土曜日<br>11:30~13:00   | おやじ食堂              | 食堂                 |
| 8  | 絆こども食堂<br>(伊丹)                        | 2021年3月          | 毎月第1火曜日<br>17:00~19:00   | 絆                  | 食堂                 |
| 9  | にじいろ食堂<br>(摂陽)                        | 2021年3月          | 毎月第3月曜日<br>17:00~19:00   | せつようセンター           | 食堂                 |
| 10 | みずほ食堂<br>(瑞穂)<br>※令和4(2022)年<br>9月に解散 | 2021年4月          | 毎月第1水曜日<br>17:00~19:00   | 瑞穂センター             | 弁当                 |
| 11 | おむすび広場<br>(神津)                        | 2021年7月          | 毎月第1・3金曜日<br>17:00~19:00 | エンカル工房             | 食堂・学習              |
| 12 | みどりっ子食堂<br>「大鹿」<br>(緑丘)               | 2021年10月         | 毎月第2木曜日<br>17:00~19:00   | 大鹿交流センター           | 食堂・学習              |
| 13 | 有っこのへや<br>(有岡)                        | 2021年10月         | 毎月第2・4木曜日<br>15:30~17:30 | 植松会場               | 学習・レクリエーション        |
| 14 | こらくる食堂<br>(鈴原)                        | 令和4(2022)年<br>6月 | 毎月第3土曜日<br>12:00~14:00   | 伊丹市立児童会館<br>「こらくる」 | 食堂                 |
| 15 | みずほ食堂(緑ヶ丘)<br>(瑞穂)                    | 令和4(2022)年<br>6月 | 毎月第3水曜日<br>17:00~19:00   | 緑ヶ丘センター            | 食堂                 |
| 16 | 2丁目あさひ食堂<br>(稲野)                      | 令和4(2022)年<br>7月 | 毎月第4土曜日<br>11:00~13:00   | 伊丹実践倫理会館           | 食堂                 |
| 17 | おぎっこママ<br>(荻野)                        | 令和4(2022)年<br>9月 | 毎月第1・3金曜日<br>17:00~19:00 | 荻野センター             | 食堂                 |
| 18 | てんてん食堂<br>(天神川)                       | 令和5(2023)年<br>2月 | 毎月第4金曜日<br>17:00~19:00   | きららホール             | 食堂・レクリエーション        |

※上記食堂等の他、不登校や支援が必要なこどもの居場所2ヶ所の立ち上げ及び運営支援を行いました。

## 2) 伊丹市内こども食堂情報交換会

市内でこども食堂の運営や支援を行っている団体が、情報交換や交流を通じて連携を深め、関係機関とつながり合うことで、それぞれの活動がさらに充実したものとなること、また、地域全体でこどもの居場所づくりに取り組む土壌づくりを目的として開催しました。

| 回数  | 実施日    | 内 容   | 参加人数 |
|-----|--------|---|------|
| 1回目 | 7月27日  | ・各食堂より活動紹介<br>・意見交換・情報交換<br>*各食堂の情報発信、受付方法について<br>(SNS やWEB 等の活用)<br>・助成金情報について | 11人  |
| 2回目 | 10月26日 | ・新規グループ等より活動紹介<br>・あかね食堂主催「こども食堂 SNS 活用勉強会」<br>・助成金情報について                       | 9人   |

## 4. 災害時に備えた支援体制づくり

### (1) まちあるき防災研修

市民の災害時に備える意識醸成をめざし、災害時に危険箇所となり得る箇所等を見つけるポイントを学び、災害時における避難ルート及び災害支援活動を行う際の移動ルートについて考える研修を実施しました。

| 実施日   | 内 容 ・ 講 師                                 | 参加人数 |
|-------|---|------|
| 1月14日 | 「まちあるき防災研修～みんなで危険箇所を探そう～」<br>(講師) 阿部 秀紀 氏 | 9人   |

※まちあるきを実施予定でしたが、荒天の為、いきいきプラザにて学習会形式で実施。

## 推進目標2 多様な活動主体が出会い、つながる仕組みづくり

### 1. 地域課題等と向き合う、福祉の枠を超えたネットワークづくり

#### (1) ボランティア・市民活動センター運営委員会の開催

伊丹市におけるボランティア・市民活動を推進するため、そのあり方を検討するとともに、活動拠点となる伊丹市ボランティア・市民活動センターの運営について協議することを目的として開催しました。

・運営委員：14人（任期：令和3(2021)年6月1日～令和5(2023)年5月31日)

| 開催数 | 開催日    | 内 容  | 参加人数 |
|-----|--------|--|------|
| 第1回 | 6月20日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度ボランティア・市民活動センター事業報告について</li> <li>・令和4年度ボランティア・市民活動センター実施事業について</li> <li>・今後の福祉学習の推進に向けて</li> <li>・令和4年度ボランティアグループ活動助成金A・B審査会</li> <li>・令和4年度新規ボランティアグループ応援助成金審査会</li> </ul> | 11人  |
| 第2回 | 9月30日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の福祉学習の推進に向けて（前回協議の継続）</li> <li>・令和4年度新規ボランティアグループ応援助成金審査会</li> </ul>   | 9人   |
| 第3回 | 12月20日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・男性個人ボランティアの今後の活躍の場について</li> <li>・障がいのある方や人との関わりが苦手な方のボランティア活動および社会参加の場について</li> </ul>  | 13人  |
| 第4回 | 3月17日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度ボランティア・市民活動センター実施事業について</li> <li>・運営委員所感</li> </ul>   | 11人  |

#### (2) ボランティア養成（スキルアップ）講座

##### 1) 地域デビュー応援講座

新たな役割や生きがいを求める定年退職者等と、新たな仲間を求める様々な活動主体が一堂に会する機会をつくり、定年退職者等が新たな活動を見つけるきっかけづくりを目的とした講座開催しました。

| 実施日   | 内 容 ・ 講 師  | 参加人数 |
|-------|--|------|
| 4月15日 | 「食育講座と料理講習」<br>（講 師）伊丹いずみ会<br>（実践報告）あかね食堂・いきいき食堂 | 3人   |

##### 2) 認知症サポーター ステップアップ講座

地域包括支援センターが実施する認知症サポーター養成講座の受講修了生を対象に、更に知識を深めるとともに、活動意欲や活動イメージの醸成を図り、受講後の活動実践の一つとして、ボランティア活動へのきっかけづくりとすることを目的に、地域包括支援センターと共催でステップアップ講座を開催しました。

| 実施日    | 内 容 ・ 講 師   | 参加人数 |
|--------|---|------|
| 12月12日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「認知症について理解を深め、実践につなげよう」<br/>(講師) 伊丹市地域包括支援センター<br/>認知症地域支援推進員 田中 友紀<br/>ケアヴィラ伊丹 作業療法士 渡邊 典子 氏</li> </ul>   | 22人  |
| 12月22日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>「伊丹市内の活動者の活動報告」<br/>(登壇者) オレンジカフェゆうかり 岡 昌史 氏<br/>オレンジカフェほほえみ 吉田 緑 氏<br/>いちごの会 鳴尾 美佐子 氏<br/>ものづくりカフェふらっと 水木 直子 氏<br/>当事者家族</li> <li>・グループワーク<br/>「認知症の方が地域で生活をする時の困りごとについて」<br/>「認知症の方やご家族に対してのサポートについて」</li> </ul> | 19人  |

### 3) こどもの居場所づくり講座

生きづらさを抱えた子どもたちや、居場所のない子どもたちが安心して過ごせる場が増えることをめざした講座を開催しました。

| 実施日   | 内 容 ・ 講 師  | 参加人数 |
|-------|--|------|
| 3月6日  | 講義「子どもたちが安心して過ごせる場づくりに必要なこと」<br>講師：特定非営利活動法人 関西子ども文化協会<br>子ども支援事業部 部長 島田 大作 氏                    | 10人  |
| 3月14日 | 講義・ワーク「子どもたちのためにつくりたい場」<br>講師：特定非営利活動法人 関西子ども文化協会<br>子ども支援事業部 部長 島田 大作 氏<br>実践報告：ボランティアグループ 大きな木 | 5人   |

### (3) ボランティア活動の啓発・活性化

#### 1) かんたんスマホ相談会

スマートフォンの使い方を学び、コロナ禍でのつながりづくりやグループ活動等に活用してもらうことと、学生ボランティアの新たな活動場所の創出や多世代交流を目的に開催しました。

- ・開催日：5月7日、6月4日、7月16日、10月22日
- ・講 師：県立伊丹北高等学校ボランティア部、県立伊丹西高等学校ボランティア部  
NTT ドコモ(阪急伊丹店・イオン昆陽店)
- ・参加者：延べ18人

#### 2) スマホ☆カフェ

スマートフォンの操作等を学び合い、コロナ禍でのつながりづくりや新しいコミュニケーションツールとして地域福祉活動に活かしてもらうこと、また、参加者同士の交流の場づくりを目的に開催しました。

<開催日>毎月第2・4火曜日 16:30~17:30 (年間17回開催)

<協 力>はじめてパソコン 朝山 克俊 氏

### 3) ボランティア交流会

ボランティア活動の活性化を図るため、ボランティア同士の交流や情報交換、また、新たなつながりを作ることを目的に開催しました。

| 実施日   | 内 容 ・ 講 師  | 参加人数 |
|-------|--|------|
| 3月28日 | ・モルック体験（協力）小紫 祐 氏<br>・座談会 （協力）ボランティアグループ「カフェテラス」 | 17人  |

### 4) たみとものわ

ボランティアグループの横の繋がりやボランティア活動の啓発、また、ボランティアや福祉などを身近に感じてもらうことを目的に、いたみいきいきプラザのロビー等を使用して、イベントやミニ講座、作品展を開催しました。

また、コロナ禍における活動・発表の場の創出や新しいつながりづくりを目的として、開催時の様子を、通所介護施設「オアシス千歳デイサービスセンター」へオンライン中継して当デイサービス利用の方々へも発信しました。

| No | 日 時           | 内 容                     | 講師・作品提供               |
|----|---------------|-------------------------|-----------------------|
| 1  | 4月28日         | 「歌唱とオカリナ演奏」             | コール・マリーエ<br>オカリナ・ハッピー |
| 2  | 5月20日         | 「ハーモニカ演奏」               | 風に吹かれてハーモニカ           |
| 3  | 7月1日          | 「弦楽器演奏と絵本読み聞かせ」         | ささはらあすなるトリオ           |
| 4  | 8月1日<br>8月22日 | 「木材でつくる工作<br>ー小物入れづくりー」 | とんかちボランティア            |
| 5  | 8月5日          | 「親子料理教室」                | 伊丹いずみ会                |
| 6  | 8月26日         | 「赤い羽根共同募金の募金箱作り」        | 伊丹市社協 総務課             |
| 7  | 10月21日        | 「傘踊り・銭太鼓・民謡披露」          | ボランティアグループ「みなみ」       |
| 8  | 12月16日        | 「やさしい椅子ヨガ」              | 清谷 善子 氏               |
| 9  | 1月26日         | 「初めての終活セミナー」            | 加来 秀彦 氏               |
| 10 | 3月27日         | 「親子防災まち歩き」              | 阿部 秀紀 氏               |

### 5) 「ボランティア活動情報」の発行

ボランティア活動の活性化を図るため、「ボランティア活動情報」を月2回発行しました。コロナ禍でのボランティア活動紹介を取り上げ、登録ボランティアだけでなく、関西スーパーや郵便局などへも情報提供するとともに、SNS（ブログ・Facebook・LINE）を活用した情報発信を行いました。

発行回数：22回 発行部数：第1週目…1,401部、第3週目…2,011部

送付方法：郵送・FAX・Eメール・LINE等

### 6) ボランティア・市民活動情報の提供

市民活動情報紙「社協だより(年2回発行)」及びアイ愛センター情報紙「ポテトサラダ(年11回発行)」に様々なボランティアに関する記事を掲載することにより、情報提供を行いました。

## 7) その他

ボランティアグループ等の主催による、いたみいききプラザのロビー等を使用した季節行事や教室、つどいの場等が実施される等、ボランティア活動を通じた繋がりが広がっています。

| 活動区分    | 内 容                                |
|---------|------------------------------------|
| 季節行事    | ・ こどもの日 ・七夕 ・クリスマス ・ひな祭り           |
| 飲食提供・交流 | ・ 喫茶（コーヒー） ・ こども食堂                 |
| テーマ型交流  | ・ 絵本カフェ ・ 将棋サロン<br>・ 不登校の子と家族の居場所  |
| 各種教室    | ・ 手芸教室 ・ 絵手紙教室<br>・ バルーン教室 ・ 防災学習会 |
| 技術提供    | ・ おもちゃ修理 ・ 木工製作等                   |

## (4) ボランティア・市民活動センターの拠点機能の強化

### 1) ボランティア相談

(単位：件)

| 区 分           | 指導<br>助言 | 情報<br>提供 | 活動<br>照会 | ボラン<br>ティア<br>派遣 | 活動<br>機材等 | その他 | 合 計 |
|---------------|----------|----------|----------|------------------|-----------|-----|-----|
| 令和 2(2020) 年度 | 4        | 59       | 24       | 48               | 7         | 7   | 149 |
| 令和 3(2021) 年度 | 7        | 125      | 0        | 66               | 0         | 33  | 231 |
| 令和 4(2022) 年度 | 1        | 81       | 0        | 182              | 0         | 14  | 278 |

### 2) ボランティア支援

①ボランティア活動の振興を図るため、ボランティアグループ活動助成金を交付しました。

- ・ 令和 4 (2022) 年度：ボランティアグループ活動費助成金〔共同募金配分金充当〕  
531,300 円 ( 10 グループ)

②新規に立ち上がったボランティアの活動の維持および活性化を図るために、新規ボランティアグループ応援助成金を交付しました。

- ・ 令和 4 (2022) 年度：新規ボランティアグループ応援助成金〔ボランティア基金充当〕  
104,600 円 (4 グループ)

### 3) ボランティア情報支援

貸出・閲覧用福祉関係書籍・ビデオ・紙芝居・機材を充実させ、貸出を行いました。

- ・ 紙芝居 0 件、書籍 0 件、認知症啓発グッズ 3 件、機材 4 7 件 総貸出件数 5 0 件

### 4) ボランティア・市民活動センター昆陽池分室（アイ愛センター内）

ボランティアの登録及び情報提供をはじめ、アイ愛センターが取り組む障がい者に関するボランティア養成事業を連携して開催し、アイ愛センターを拠点に活動するボランティアグループ等の窓口として開設しました。

(5) ボランティア共済保険等の取り扱い

兵庫県社会福祉協議会の依頼を受け各種ボランティア共済保険の受付業務を行いました。

- ・ボランティア・市民活動共済保険 3, 325件 (内災害型特例型17件)
- ・ボランティア活動等行事保険 127件
- ・ボランティア移送サービス・交通傷害保険 0件
- ・事故受付対応件数 3件

(6) ボランティアの登録状況

| 区分   | 令和2(2020)年度 |        | 令和3(2021)年度 |        | 令和4(2022)年度 |        |
|------|-------------|--------|-------------|--------|-------------|--------|
| 個人   | —           | 197人   | —           | 176人   | —           | 168人   |
| グループ | 134グループ     | 1,825人 | 138グループ     | 1,807人 | 146グループ     | 1,801人 |
| 計    | 134グループ     | 2,022人 | 138グループ     | 1,983人 | 146グループ     | 1,969人 |

(7) ボランティア派遣状況

| 区分                  |         | 個人 | 施設    | 社協 | 行政 | 団体  | 学校  | その他 | 合計    |
|---------------------|---------|----|-------|----|----|-----|-----|-----|-------|
| 令和3<br>(2021)<br>年度 | 派遣件数(件) | 6  | 1,064 | 23 | 4  | 25  | 24  | 0   | 1,146 |
|                     | 延人数(人)  | 8  | 1,804 | 65 | 33 | 41  | 125 | 0   | 2,076 |
| 令和4<br>(2022)<br>年度 | 派遣件数(件) | 2  | 924   | 26 | 37 | 71  | 38  | 0   | 1,098 |
|                     | 延人数(人)  | 4  | 1571  | 77 | 84 | 176 | 273 | 0   | 2,185 |

(8) 福祉サポーターポイント事業(市委託事業)

1,182,927円

福祉サポーターが福祉施設等で活動を行うことにより、市民の社会参加や生きがいを支え、福祉施設等での活動を支援し、介護予防の推進、地域で支え合うことができる体制づくりのため実施しました。

1) 登録状況

①サポーターの登録状況(年代は令和5(2023)年3月31日時点)

(単位:人)

| 登録者数                |     | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | 80代 | 90代 | 合計  |
|---------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 令和3<br>(2021)<br>年度 | 継続者 | 0   | 3   | 10  | 8   | 17  | 120 | 53  | 7   | 218 |
|                     | 新規  | 1   | 0   | 2   | 0   | 1   | 1   | 0   | 0   | 5   |
|                     | 廃止  | 0   | 0   | 0   | 0   | 0   | 3   | 3   | 1   | 7   |
|                     | 全体  | 1   | 3   | 12  | 8   | 18  | 118 | 50  | 6   | 216 |
| 令和4<br>(2022)<br>年度 | 継続者 | 0   | 2   | 11  | 9   | 18  | 95  | 71  | 10  | 216 |
|                     | 新規  | 0   | 0   | 4   | 1   | 1   | 1   | 1   | 0   | 8   |
|                     | 廃止  | 0   | 0   | 2   | 0   | 1   | 7   | 6   | 3   | 19  |
|                     | 全体  | 0   | 2   | 13  | 10  | 18  | 89  | 66  | 7   | 205 |

②受け入れ施設の登録状況

(単位：人)

| 受入施設数               |      | 高齢 | 障害 | 子ども | 病院 | その他 | 合計 |
|---------------------|------|----|----|-----|----|-----|----|
| 令和3<br>2021<br>年度   | 継続施設 | 42 | 6  | 2   | 1  | 1   | 52 |
|                     | 新規   | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0  |
|                     | 廃止   | 1  | 0  | 1   | 0  | 0   | 2  |
|                     | 全体   | 41 | 6  | 1   | 1  | 1   | 50 |
| 令和4<br>(2022)<br>年度 | 継続施設 | 41 | 6  | 2   | 1  | 0   | 50 |
|                     | 新規   | 3  | 1  | 0   | 0  | 0   | 4  |
|                     | 廃止   | 3  | 0  | 0   | 0  | 0   | 3  |
|                     | 全体   | 41 | 7  | 2   | 1  | 0   | 51 |

2) 福祉施設等情報交換会の開催

ボランティア受入施設及び、福祉サポーターポイント事業登録施設、また今後ボランティア受入を検討している施設職員がつどい、受入状況や活動内容、課題等の情報共有、意見交換等を行うことを通して、今後のボランティア活動の活性化につなげることを目的とした情報交換会を開催。令和4(2022)年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。

(9) いたみスペースバンク事業

伊丹市内の事業所や個人の所有する建物や土地の空きスペースと、活動場所を求める市民団体・グループ等のマッチングを通して、多様な地域福祉活動の促進を支援する取り組みを開始。今年度は、空きスペースの有効活用を希望する事業所・個人のスペース情報登録に向けた働きかけを行いました。 ※空きスペース登録数：3件

(10) 「ごみ捨て支援検討会」の実施

介護サービスの利用や地域の支え合い等だけでは解決が難しい「高齢者等のごみ捨て」を検討するため、介護専門職や民生委員児童委員や自治会長、行政職員等で構成する検討会を実施しました。次年度も引き続き検討を継続していく予定です。

また、検討にあたり、市内の介護支援専門員等へ協力を呼びかけ、「ごみ捨て」に関するニーズアンケートを実施しました。

## 2. 地域で育む子どもたちの福祉学習

(1) 福祉学習への支援

学校およびPTA等からの各種相談に対応…12件

内 訳：ボランティア派遣件数(延べ32人)、活動機材貸出49件

(2) なつボランティア体験学習の開催

児童・生徒が、ボランティア意識や思いやりの心を育むこと、また福祉活動に関心を持つきっかけとして、夏休み期間に福祉講座を開催しました。なお、地域で実施している様々なボランティア活動や地域福祉活動の参加は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施。



| No | 講座                  | 日時(回数)                              | 講師等                                  | 参加人数<br>(延べ) |
|----|---------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|--------------|
| 1  | こども手話講座             | 7月26日・7月27日・7月29日<br>8月1日・8月2日(全5回) | 手話サークルこゆびの会・伊丹聴力障害者協会                | 15人<br>(64人) |
| 2  | 筆談・要約筆記<br>体験講座     | (小学生) 8月3日午前                        | 伊丹難聴者福祉協会<br>かるかもの会・要約筆記伊丹           | 6人           |
|    |                     | (中学～大学生) 8月3日午後                     |                                      | 10人          |
| 3  | 知的・発達障がい者<br>疑似体験講座 | (小学生) 8月9日午前                        | 伊丹市手をつなぐ育成会                          | 6人           |
|    |                     | (中学～大学生) 8月9日午後                     |                                      | 11人          |
| 4  | 認知症サポーター<br>養成講座    | (小学生) 8月10日午前                       | 認知症予防啓発ボランティアグループ<br>「Dクラブ あかずきんちゃん」 | 8人           |
|    |                     | (中学～大学生) 8月10日午後                    |                                      | 5人           |
| 5  | 防災学習会               | (小学生) 8月17日午前                       | 阿部 秀紀 氏                              | 7人           |
|    |                     | (中学～大学生) 8月17日午後                    |                                      | 2人           |

### (3) トライやるウィークの受け入れ

中学生の社会参加の場として「トライやるウィーク」の受け入れを行い、地域のボランティア活動や、ボランティアグループでの活動体験を行いました。

| No | 受け入れ中学校    | 人数 | 日時            |
|----|------------|----|---------------|
| 1  | 天王寺川中学校    | 1人 | 11月7日～11月11日  |
| 2  | 西中学校・松崎中学校 | 3人 | 11月14日～11月18日 |
| 3  | 東中学校       | 3人 | 11月28日～12月2日  |
| 4  | 荒牧中学校      | 2人 | 12月5日～12月9日   |

## 3. 一人ひとりの「強み」を活かせる社会参加の場づくり

### (1) 新たな活動の場づくり

地域の生活課題の集約に努め、ひきこもりの支援やこどもの居場所づくりについて、行政や関係機関、住民等と協働して取り組みを進めました。今後は、好事例を広めるとともに、生活課題を集約できる方法を検討していきます。

#### 1) 当事者会(家族会)の支援

要援護者を抱える家族や当事者の福祉の向上を図るため、情報交換、研修会、親睦、交流等の活動を展開している当事者会(家族会)の活動を支援しました。

- ・ほほえみの会(伊丹市認知症等介護者家族の会) (56回:延べ433人)
- ・きたいの会(伊丹市男性介護者きたいの会) (12回:延べ32人)

2) ひきこもりについて悩みをもつ家族への支援

伊丹市くらし・相談サポートセンター、伊丹市こども若者企画課の後援で、ひきこもりについて悩みをもつ家族が悩みや情報を共有する場として、「ひきこもり家族のつどい」を開催しました。(回数：12回 参加者：延べ67人)

内 容：\*フリートーク、情報交換

3) 若年認知症の本人と家族への支援

若年認知症の本人と家族への支援について考える「若年認知症の会『ふらっと』」の活動を支援しました。月1回定例会(家族会)と当事者の活動の場として「お散歩クラブ」の開催を支援し、当事者・当事者家族による交流の機会づくりに取り組みました。

|        | 回数  | 参加者数(延べ) |
|--------|-----|----------|
| 定例会    | 12回 | 101人     |
| お散歩クラブ | 12回 | 35人      |

4) おうえん・のうえん事業の実施

高齢のために管理が難しくなった休耕地を地区ボランティアセンター・近隣住民・子ども・障がいのある人・ひきこもりがちな方等が関わり、野菜の育て方を学んだり、収穫体験を通じて交流を図りました。

| 校 区 | 実施内容              | 回数  | 延人数  | 参 加 者   |
|-----|-------------------|-----|------|---|
| 昆陽里 | 畑の草引き・土起こし、野菜の種まき | 68回 | 284人 | 障がいのある人、ひきこもりがちな人、不登校生、地区ボランティア、近隣住民                  |
|     | 野菜の収穫             |     |      | 幼稚園児、障がいのある人、ひきこもりがちな方、不登校生、こども食堂ボランティア、地区ボランティア、近隣住民 |

※活動していた休耕地の返却により、12月で活動終了。

## 推進目標3 多様な主体が連携・協働できる総合相談支援体制 (たよれるネット)の推進

### 1. 入り口から出口につながるエリア(圏域)ごとの協働・協議の地域福祉ネットワーク

#### (1) 地域福祉推進室の機能強化

地域福祉推進担当(コミュニティワーカー兼生活支援コーディネーター)と各支援センター(個別支援ワーカー)との連携強化をめざし、公的サービスからインフォーマルサービスを包括的に支援する総合相談支援体制(たよれるネット)を推進するため、地域福祉推進担当や地域包括支援センター、地域生活支援センター、ボランティア・市民活動センター等の一体的体制として「地域福祉推進室」を設置し、多様な福祉相談に対応しています。

#### 1) 課題調整会議(事例検討会)のあり方検討

令和5(2023)年度より「重層的支援体制整備事業」が本格実施されること等も踏まえ、これからの「課題調整会議」が担っていくべき役割等、今後のあり方について検討しました。

#### 2) 伊丹市生活支援・介護予防サービス基盤整備事業

(伊丹市委託事業) 39,490,293円

#### 第2層生活支援コーディネーターの配置

高齢者の生活支援・介護予防サービスの体制整備を推進していくことをめざし、地域包括支援センター圏域ごとに第2層生活支援コーディネーターを配置しました。

### 2. 地域と協働できる専門職の育成(地域福祉を進める福祉専門職の育成)

#### (1) 個別支援スキル向上研修会の開催について

本会が実施している個別支援の相談援助職を対象に、個別支援スキル向上の研修を行い、個別支援の各部署が連携し、総合相談支援の対応を強化するために実施しました。研修前後でアンケート調査を行った結果、全職員から個別支援スキルが向上したと回答がありました。

|   | テーマ                           | 実施日    |
|---|-------------------------------|--------|
| 1 | 障害者の就労支援について学ぶ～障害者の就労支援の実態を知る | 5月24日  |
| 2 | コミュニティワークについて～地域担当の業務を知る～     | 6月21日  |
| 3 | 成年後見人との連携～身元保証人・連帯保証人・医療同意～   | 7月19日  |
| 4 | 税について考える ～踏み倒してはいけないお金～       | 8月23日  |
| 5 | 経済的虐待の対応について～相談支援機関の立ち合いについて～ | 9月20日  |
| 6 | 障害年金について ～社労士の業務を学ぶ～          | 10月18日 |

|    | テーマ                          | 実施日    |
|----|------------------------------|--------|
| 7  | 依存症について学ぶ～アルコール・ギャンブル・薬物依存症～ | 11月16日 |
| 8  | 事例検討①                        | 12月20日 |
| 9  | 事例検討②                        | 1月17日  |
| 10 | 事例検討③                        | 2月21日  |
| 11 | 重層的支援体制整備事業について              | 3月22日  |

## (2) コミュニティワーク研修会の実施

令和4(2022)年度は、社会資源の発見、社会資源へのつながりや創出にかかわるオンラインによる研修(3回)、集合型の研修(4回)に職員が参加し、職員個々のスキルアップとともに、組織全体のコミュニティワーク力の向上を図りました。

(参加者) 地域福祉推進担当(コミュニティワーカー兼生活支援コーディネーター)

## 3. 地域のセーフティネットの体制づくり

### (1) 社会福祉法人連絡協議会の実施

誰もが安心・安全に暮らすことができる地域社会づくりを推進するため社会福祉法人が地域福祉に関する情報や意見交換、連携を図ることを目的として実施しています。

令和4(2022)年度は、地域の公益的な取り組みの実施につながるよう、今後の本連絡協議会の進め方について協議を行いました。また、包括的支援体制に向けた取り組みとして、令和5年度より本格実施となる重層的支援体制整備事業について、情報共有を図りました。今後も、各法人が主体となって協議ができるように運営していきます。

#### 1) 連絡協議会

| 月 日   | 内 容   | 参加法人<br>(人数)  |
|-------|---|---------------|
| 2月24日 | ①協議「今後の伊丹市社会福祉法人連絡協議会について」<br>②講義「伊丹市における重層的支援体制整備事業について」<br>講師：伊丹市共生福祉社会推進担当主幹 丸山 孝興 氏 | 10法人<br>(13人) |

### (2) 社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会への参加

日 時：3月23日 オンライン開催 参加者：2人

内 容：グループ協議

- ①ほっとかへんネットを取り巻く情勢について現在の取り組み
- ②実践報告「大学とほっとかへんネットの連携による人材確保について」

### (3) 市域での協議の場(ネットワーク)整備に向けた市との協議

セーフティネットの体制整備については、令和4(2022)年度は、その前段階である、市と本会の包括支援担当者が参加する包括支援担当者会議の開催や、市の庁内連携会議に本会からも職員が参加し連携の強化に取り組みました。

## 4. 伊丹市における権利擁護支援体制の充実

(1) 伊丹市福祉権利擁護センターの設置 (伊丹市委託事業) 6,515,613円

高齢者及び障がい者(児)等の権利擁護に関する総合的な支援事業を行うことにより、誰もが住み慣れた地域で安心して生活が継続できることをめざし、地域における社会福祉の増進を図ることを目的として設置されました。成年後見利用促進法に基づく中核機関として、成年後見制度の利用を促進するための活動を行っています。令和5年度は、親族後見人支援を支援する研修を実施していく予定です。

### 1) 伊丹市成年後見利用促進委員会の開催

認知症や知的障害、精神障害等により判断能力に不安を抱えるなど、成年後見制度等の利用が必要とされる人を確実に支援につなげるため、関係機関による地域連携ネットワークを構築することで必要な支援を実施するとともに、関係機関の連携を強化することを目的として開催しました。

| 開催日   | 議 題  | 参加人数 |
|-------|--|------|
| 7月26日 | ①伊丹市福祉権利擁護センター事業報告 ②受任調整機能について<br>③親族後見人の現状について ④親族後見人支援について | 11人  |
| 2月14日 | ①親族後見人の調査報告 ②伊丹市における親族後見人支援について                              | 12人  |

### 2) 相談の状況

相談件数は、年間989件(月平均82件)あり、相談者は地域包括支援センター、行政等の関係機関が515件(52%)、対象者は、高齢者が684件(69%)大きな割合を占めました。

主な相談内容は、法定後見制度の利用が435件(27%)、成年後見制度申立て手続きについてが401件(25%)、日常的な金銭管理・財産管理が143件(9%)虐待およびその疑いがあるものが111件(7%)、債務整理・一般法律相談が98件(6%)でした。

相談内容(複数回答) (単位:件)

| 相談内容              | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|
| 日常的な金銭管理・財産管理     | 90          | 169         | 143         |
| 福祉サービス等法的な手続きについて | 110         | 110         | 76          |
| 虐待及びその疑いがあるもの     | 119         | 95          | 111         |
| 消費者被害             | 2           | 4           | 0           |
| 生活困窮              | 14          | 4           | 5           |
| 成年後見制度の利用         | 369         | 189         | 204         |
| 法定後見制度の利用         | 317         | 415         | 435         |
| 任意後見制度の利用         | 10          | 12          | 15          |
| 成年後見制度の申立て手続きについて | 188         | 273         | 401         |
| 成年後見人等の活動支援について   | 35          | 69          | 52          |
| 福祉サービス利用援助事業の利用   | 1           | 1           | 0           |
| 触法行為              | 1           | 0           | 0           |
| 債務整理              | 73          | 80          | 98          |
| 一般的な法律相談          | 74          | 49          | 38          |
| その他               | 29          | 17          | 32          |
| 相談実数合計            | 1,432       | 1,487       | 1,610       |

### 3) 個別支援会議（カンファレンス）の開催

法的な支援等が必要なケースへの対応については、法律専門家等と連携し、個別支援会議（カンファレンス）（計35回）を開催し、相談支援機関への後方支援を行いました。

ケース内容の特徴として、主に経済的虐待等の高齢者虐待、成年後見制度の利用、債務の対応等、福祉、法律、医療等の問題が複雑に絡んでいるケースがあげられます。カンファレンスでは、ケアマネジャー、地域包括支援センター、行政、警察、法律専門家等、福祉権利擁護センターにより対応を検討し、状況に応じて法律専門家等から直接支援を行いました。

### 4) 成年後見制度申立て支援事業

成年後見制度の申立て手続きに関する相談等は、計401件で、その対応としては、助言や情報提供のほか、本人や家族が申立てを行う場合や、財産関係等が複雑で専門的な助言が必要であるなど、より具体的に支援を行う必要がある際に、地域包括支援センター等の相談支援機関と連携し、申立て手続きに関する書類の作成や手続きの支援（計299件）を行いました。

## (2) 権利擁護啓発活動

### 1) 権利擁護講演会

市民・専門職を対象に権利擁護や成年後見制度の普及啓発を目的に行いました。

開催日：7月7日 参加者：62人

内容：法律と福祉の両面から考える！認知症700万人時代の失敗しない「成年後見」の使い方

講師：みそら行政書士・社会福祉士事務所 所長 鈴木 雅人 氏

### 2) 権利擁護講座の開催（地域包括支援センター共催）

認知症高齢者や知的・精神障がい者への理解や生活を支える成年後見制度や福祉諸制度等権利擁護について、広く市民に啓発を行うとともに、地域型地域包括支援センターの運営法人と協働して権利擁護活動の周知を目的に開催しました。

第1回：9月13日 緑丘センター 参加者：21人

「あなたと大切な人を守る成年後見制度」講師：林下法律事務所 弁護士 林下 志麻 氏

第2回：11月15日 ことば蔵 参加者：10人

「財産管理・遺言等についての講座」講師：山村力法律事務所 弁護士 山村 力 氏

### 3) 権利擁護事例検討会の開催

市内の高齢者・障がい者相談支援機関が日常的に関わる中で、法的な課題（債務整理、近隣トラブル、経済的虐待等）を抱える事例が多数あり、課題解決に向けて法律専門家と連携する必要があることから、高齢者・障がい者相談支援機関の権利擁護支援のスキル向上と法律専門家等との連携を深めるために開催しました。

対象者：地域包括支援センター・障害者相談支援機関・行政ケースワーカー（高齢・障害）・法律職等

実施日：10月20日、1月19日 参加者：延べ60人

(3) 市民後見人養成・活動支援

(伊丹市委託事業)

8,016,000 円

## 1) 養成講座

親族以外で後見業務を担う第三者後見人の新たな担い手として、地域福祉の視点から、身近な「市民」という立場で後見活動を行う「市民後見人」を養成するため、市民後見人養成講座を実施しました。 申込者：5名 面接：1月10日（4名合格／1名辞退）

| 日時                       | 内容                             | 講師                                    |
|--------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|
| 8月24日<br>9:00<br>~16:10  | オリエンテーション                      | 伊丹市社会福祉協議会                            |
|                          | 市民後見人（候補者）養成について               | 地域・高年福祉課                              |
|                          | 市民後見人について                      | 伊丹市社会福祉協議会                            |
|                          | 介護保険サービスについて                   | 介護保険課                                 |
|                          | 障がい福祉サービスについて                  | 障害福祉課                                 |
|                          | 成年後見制度について                     | 西宮オリーブ法律事務所 弁護士 馬渡英樹 氏                |
|                          | 成年後見制度の権限と義務                   | 西宮オリーブ法律事務所 弁護士 馬渡英樹 氏                |
| 8月31日<br>9:20<br>~16:10  | 権利擁護の理念と市民後見人の役割               | 迫田司法書士事務所司法書士 迫田博幸 氏                  |
|                          | 成年後見業務の倫理                      | 迫田司法書士事務所司法書士 迫田博幸 氏                  |
|                          | 財産管理の実際                        | いたみ中央司法書士事務所<br>司法書士 竹本秀司 氏           |
| 9月7日<br>10:00<br>~16:10  | 就任時の手続き、報告書類作成、家庭裁判所、後見監督人への報告 | いたみ中央司法書士事務所<br>司法書士 竹本秀司 氏           |
|                          | 身上保護について①                      | ソーシャルサポート灯合同会社<br>社会福祉士 向井洋江 氏        |
|                          | 成年後見制度の相続、遺言、死亡に伴う手続き          | 山村力法律事務所弁護士 山村力 氏                     |
| 9月14日<br>9:50<br>~16:00  | 成年後見制度の相続、遺言、死亡に伴う手続き          | 山村力法律事務所弁護士 山村力 氏                     |
|                          | 生活保護法について                      | 生活支援課                                 |
|                          | 消費者被害の実情と被害予防・救済               | 消費生活センター                              |
| 9月21日<br>10:00<br>~16:10 | 対人援助の基本                        | 心理スペース「ぽれぽれ」稲松由佳 氏                    |
|                          | 知的・精神障がい者の理解と接し方               | 伊丹市地域生活支援センター                         |
|                          | 身上保護について②                      | ソーシャルサポート灯合同会社<br>社会福祉士 向井洋江 氏        |
| 9月28日<br>9:50<br>~16:00  | 意思決定支援について                     | 関西学院大学<br>人間福祉学部 人間福祉研究科<br>准教授 林真帆 氏 |
|                          | 認知症高齢者の理解と接し方                  | 伊丹市地域包括支援センター                         |
|                          | 日常生活自立支援事業                     | 伊丹市社会福祉協議会                            |
|                          | 高齢者虐待の現状とその対応                  | 伊丹市地域包括支援センター                         |
|                          | 障害者虐待の現状とその対応                  | 障害福祉課                                 |
|                          | 終了後の活動について、作文作成                | 社会福祉協議会 事務局                           |

## 2) 市民後見人登録者のフォローアップ研修の実施

第1回：7月12日 10:00～12:00

成年後見人の財産管理等について 講師：上田司法書士事務所 司法書士 上田 和幸 氏  
市民後見人活動の報告 実践報告者：市民後見人受任経験者 宮崎 伸幸 氏

第2回：2月9日 10:00～12:00

身上保護について 講師：ソーシャルサポート灯合同会社 社会福祉士 向井 洋江 氏  
市民後見人活動の報告 実践報告者：市民後見人受任経験者 榮田 幸子 氏

## 3) 市民後見人受任者向け研修会の実施

市内で市民後見人として活動している方を対象に市民後見人の受任後の悩みの共有、後見人活動の情報交換等を行い、専門職の講師より後見活動における助言等を行いました。

また、意向確認のアンケートにより、市民後見人養成講座受講修了者の活動の機会として興味関心の高かった権利擁護の広報・啓発について、市民後見人のボランティアグループ化や広報・啓発活動のツールの作成について協議を行いました。

第1回実施日時：6月3日 13:30～15:30 参加者：6人（市民後見人活動者・終了者）

第2回実施日時：1月10日 10:00～12:00 参加者：5人（市民後見人活動者・終了者）

## 4) 市民後見人の活動支援

市民後見人に対し、後見監督人として相談対応、同行支援、カンファレンス参加等での支援を行いました。

また、日々の活動で不安に思っている事や疑問に思っていることを解消するため、市民後見人と専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士）との個別面談を実施しました。

市民後見人活動者 13名（うち7名後見事務終了）

| 年 度    | 令和<br>2(2020)年<br>度 | 令和<br>3(2021)年<br>度 | 令和4<br>(2022)年度 |
|--------|---------------------|---------------------|-----------------|
| 受任調整会議 | 2回                  | 2回                  | 1回              |
| 審 判    | 2件                  | 2件                  | 1件              |
| 確定活動中  | 2件                  | 2件                  | 1件              |

※ 確定活動中の件数について、1件は前年度の受任調整会議を経て今年度に審判が確定。

## (4) 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)

(兵庫県社会福祉協議会委託事業・伊丹市補助事業)

12,352,564円

在宅で生活されている方で、判断能力に不安のある認知症高齢者や知的障がい者・精神障がい者等が安心して地域で生活が継続できるよう、生活支援員を派遣し日常金銭管理支援、福祉サービスの利用援助等を行いました。施設入所中の利用者との面談には感染予防のためタブレット等を活用し、非接触で利用者面談ができるように工夫しました。



1) 相談件数 (契約前) (単位: 件)

|               | 認知症<br>高齢者 | 知的<br>障がい者 | 精神<br>障がい者 | その他 | 合 計 |
|---------------|------------|------------|------------|-----|-----|
| 令和 2(2020) 年度 | 177        | 39         | 64         | 74  | 354 |
| 令和 3(2021) 年度 | 130        | 35         | 83         | 114 | 362 |
| 令和 4(2022) 年度 | 128        | 16         | 85         | 51  | 280 |

2) 相談内容件数内訳 (契約前、契約後含む) (単位: 件)

|               | 日常生活自立支<br>援事業に関して | 成年後見制度等 | その他 | 合 計   |
|---------------|--------------------|---------|-----|-------|
| 令和 2(2020) 年度 | 2,882              | 1       | 0   | 2,883 |
| 令和 3(2021) 年度 | 3,218              | 3       | 2   | 3,223 |
| 令和 4(2022) 年度 | 3,384              | 2       | 0   | 3,386 |

3) 契約件数 (単位: 件)

|               | 年度当初契約数 | 契約数 | 解約数 | 年度末契約数 |
|---------------|---------|-----|-----|--------|
| 令和 2(2020) 年度 | 73      | 21  | 21  | 73     |
| 令和 3(2021) 年度 | 73      | 23  | 20  | 76     |
| 令和 4(2022) 年度 | 76      | 15  | 13  | 78     |

4) 日常金銭管理支援 (援助実施数)

|               | 援助延日数   | 援助延回数   | 援助者延人数  |
|---------------|---------|---------|---------|
| 令和 2(2020) 年度 | 1,583 日 | 1,583 回 | 1,787 人 |
| 令和 3(2021) 年度 | 1,674 日 | 1,674 回 | 2,005 人 |
| 令和 4(2022) 年度 | 1,640 日 | 1,640 回 | 1,933 人 |

5) 日常金銭管理支援 (援助内容) (単位: 回)

|               | 生活費<br>受け渡し | 支払い<br>同行 | 支払い<br>代行 | 福祉サービス<br>手続き等 | その他 | 合 計   |
|---------------|-------------|-----------|-----------|----------------|-----|-------|
| 令和 2(2020) 年度 | 1,564       | 4         | 554       | 1              | 1   | 2,124 |
| 令和 3(2021) 年度 | 1,654       | 12        | 577       | 3              | 1   | 2,247 |
| 令和 4(2022) 年度 | 1,541       | 13        | 441       | 4              | 4   | 2,003 |

(5) 家計改善支援事業・家計相談支援事業 (伊丹市委託事業) 5,914,995 円

市内在住の生活困窮者及び生活保護受給者のうち、心身の状態やこれまでの生活環境等の理由により、適正な金銭管理を行うことが難しい方に対して、家計の実態把握を行い、課題の解決や本人が金銭管理を行う力を身につけ、自立した生活を地域で送るための支援を目的に家計改善支援を実施しました。また、自立に向け家計簿の支援ツールを作成し、相談者が家計簿作成を行うための仕組み作りを行いました。更に、教育支援資金貸付と家計改善支援の連携を行い、教育資金借入者が在学中に資金不足に陥らないように支援するための体制を整備しました。

1) 相談件数 (単位：件)

|             | 生活困窮者 |     | 生活保護受給者 |     | 合計  |
|-------------|-------|-----|---------|-----|-----|
|             | 新規    | 継続  | 新規      | 継続  |     |
| 令和2(2020)年度 | 25    | 325 | 16      | 162 | 528 |
| 令和3(2021)年度 | 24    | 350 | 7       | 112 | 493 |
| 令和4(2022)年度 | 25    | 403 | 16      | 222 | 666 |

2) 相談対応内訳 (単位：件)

|             | プラン作成 | 同行支援 | 実態把握 | 連絡調整 | その他 |
|-------------|-------|------|------|------|-----|
| 令和2(2020)年度 | 22    | 13   | 455  | 265  | 22  |
| 令和3(2021)年度 | 28    | 25   | 394  | 297  | 26  |
| 令和4(2022)年度 | 21    | 9    | 561  | 111  | 37  |

3) 利用者数 (単位：件)

|             | 年度当初利用者数 | 新規利用者数 | 終了者数 | 年度末利用者数 |
|-------------|----------|--------|------|---------|
| 令和2(2020)年度 | 16       | 14     | 13   | 17      |
| 令和3(2021)年度 | 17       | 10     | 10   | 17      |
| 令和4(2022)年度 | 17       | 9      | 14   | 12      |

(6) 法外援護資金の貸付

市内在住の生活困窮者等の世帯に対して、資金の貸付及び必要な援助指導を行い、世帯の生活の安定を図りました。

今後は、貸付の際に家計改善支援事業の案内を行うなど、必要があれば継続的な支援につなげられる体制を整えます。

| 年度          | 相談件数 | 生活資金 |            |
|-------------|------|------|------------|
|             |      | 貸付件数 | 貸付決定額      |
| 令和2(2020)年度 | 103件 | 44件  | 1,224,000円 |
| 令和3(2021)年度 | 74件  | 31件  | 795,400円   |
| 令和4(2022)年度 | 53件  | 24件  | 609,700円   |

(7) 生活福祉資金の貸付

1) 新型コロナウイルス特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）

兵庫県社会福祉協議会が実施する新型コロナウイルス特例貸付の伊丹市の窓口として新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、収入の減少等があり一時的な生計維持のための費用を必要とする世帯に、生活費の貸付を行いました。

また、償還が開始される借受人世帯を対象とした生活相談会の実施や無料食糧支援を行い、支援情報の提供を行いました。

今後も継続して借受人世帯につながりを持ち状況把握に取り組みます。

|      | 新型コロナ特例<br>緊急小口資金<br>(令和2(2020)年<br>3月25日～<br>令和3(2021)年3<br>月) | 新型コロナ特例<br>緊急小口資金<br>(令和3(2021)年<br>4月～<br>令和4(2022)年3<br>月) | 新型コロナ特例<br>緊急小口資金<br>(令和4(2022)年<br>4月～<br>令和4(2022)年9<br>月) | 合計<br>新型コロナ特例緊急<br>小口資金<br>(令和2(2020)年<br>3月25日～<br>令和4(2022)年9<br>月) |
|------|---|--|--|---|
| 相談件数 | 3,576件  | 1,791件   | 417件   | 5,784件  |
| 申請件数 | 1,567件  | 612件   | 117件   | 2,296件  |
| 決定件数 | 1,554件  | 573件   | 100件   | 2,227件  |
| 貸付金額 | 295,480,000円  | 114,050,000円   | 19,800,000円  | 429,330,000円  |

|      | 新型コロナ特例<br>総合支援資金<br>(令和2(2020)年<br>3月25日～令和3<br>(2021)年3月) | 新型コロナ特例<br>総合支援資金<br>(令和3(2021)年<br>4月～令和4<br>(2022)年3月) | 新型コロナ特例<br>総合支援資金<br>(令和4(2022)年<br>4月～令和4(2022)<br>年9月) | 合計<br>新型コロナ特例総合<br>支援資金<br>(令和2(2020)年<br>3月25日～令和4<br>(2022)年9月) |
|------|---|--|--|---|
| 相談件数 | 2,762件  | 1,793件   | 573件   | 5,128件  |
| 申請件数 | 1,127件  | 561件   | 99件  | 1,787件  |
| 決定件数 | 1,121件  | ※① 541件  | 81件  | 1,743件  |
| 貸付金額 | 1,165,190,000円  | 840,350,000円   | 50,900,000円  | 2,056,440,000円  |

※相談件数との差異については複数回相談し、申請された方がいるため。

※貸付金額については、兵庫県社会福祉協議会貸付決定状況より引用(ろうきん・郵便局申請含む)

※①昨年度との差異については、兵庫県社会福祉協議会より1件の報告漏れがあったため。

## 2) 生活福祉資金(新型コロナウイルス特例貸付除く)

兵庫県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金の伊丹市の窓口として、低所得者、高齢者、身体障がい者等に対し、民生委員児童委員と連携し、生活福祉資金の貸付相談及び必要な援助指導を行い、世帯の経済的自立及び生活の安定を図りました。

| 年度          | 相談件数   | 貸付件数 | 貸付決定額       |
|-------------|--------|------|-------------|
| 令和2(2020)年度 | 602件   | 19件  | 32,987,800円 |
| 令和3(2021)年度 | 1,566件 | 45件※ | 55,305,000円 |
| 令和4(2022)年度 | 1,733件 | 45件※ | 67,246,400円 |

※貸付決定後辞退者2件含む(貸付決定額3,080,800円)

## 3) 総合(離職者)支援資金

失業により生計の維持が困難になった世帯に対し、再就職までの間の生活資金を貸付けることにより、世帯の自立及び生活の安定を図るための相談支援を実施しました。

| 年度          | 相談件数 | 貸付件数 | 貸付決定額 |
|-------------|------|------|-------|
| 令和2(2020)年度 | 52件  | 0件※  | 0円    |
| 令和3(2021)年度 | 23件  | 0件※  | 0円    |
| 令和4(2022)年度 | 49件  | 0件※  | 0円    |

※新型コロナウイルスの影響により失業された方が多く、新型コロナウイルス特例貸付で支援したことから、貸付決定額が0円となっています。

#### 4) 新型コロナウイルス特例貸付借受人対象 生活相談会

新型コロナウイルス特例貸付者を対象に市と生活相談会を開催し、借受人より個別に相談を聞く機会を設けました。

実施日：8月12日 参加者：14人

#### 5) コロナ特例貸付利用者向け無料食糧支援

コロナ特例貸付利用世帯の生活実態調査を実施した結果、無料食糧支援に関するニーズが高く、償還に向けての生活困窮者への支援の一環として無料食糧支援を実施するとともに、配布者には面談やアンケートなどを通じて生活困りごとを確認するなど、孤立させないため支援を行いました。

また、無料食糧支援情報を発信するツールとしてLINEアカウントを開設しました。

対象者：生活実態調査回答者

実施日：11月30日

配布世帯数：60世帯

対象者：コロナ特例貸付全世帯

実施日：2月7日・8日

配布世帯数：285世帯

#### (8) コロナ特例貸付利用者の生活実態調査事業 (伊丹市委託事業) 1,033,116円

新型コロナウイルス特例貸付世帯について生活状況を把握し、今後の支援のあり方を検討するためにアンケート調査を実施しました。

調査対象者：伊丹市において新型コロナウイルス特例貸付を利用した世帯2,108世帯の内、2,017世帯（普通郵便にて未到着91世帯）

調査方法：質問紙郵送調査とオンライン回答の併用

実施期間：8月1日から9月31日

回収数：403世帯

#### 4. 総合相談支援体制(たよれるネット)の総合調整力の強化

(1) 伊丹市(基幹型)地域包括支援センターの設置 (伊丹市委託事業) 13,713,049円

地域包括支援センターは、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員(主任ケアマネジャー)の専門3職種が、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とするワンストップ相談窓口拠点です。伊丹市では、平成27(2015)年4月から市内を9つの圏域に分け、9ヶ所の「地域包括支援センター」が設置されました。

本会は、9ヶ所の地域包括支援センターを支援する基幹型地域包括支援センターとして、各事業別会議(管理者会議、ケアマネジャー支援会議、権利擁護業務報告・レビュー会議、介護予防業務連絡会議)を継続的に開催し、定期的に情報共有を図りながら支援しました。

今後も、年間事業実施計画に基づき、適切に事業実施が行えるよう支援するとともに、地域包括支援センター職員の資質向上や横のつながり作り等にも取り組み、他機関・他団体と協働して基幹的機能(後方支援体制)の強化を図っていきます。

##### 1) 地域包括支援センターの統括・センター間の連絡調整

9ヶ所の地域包括支援センターが相互に連携し、情報共有を図り、共通認識を持って地域包括ケアシステムを推進することを目的に、連携会議を開催しました。

| 会議名             | 参加者                           | 開催回数                   |
|-----------------|-------------------------------|------------------------|
| 地域包括支援センター管理者会議 | センター管理者                       | 6回(概ね2ヶ月1回)            |
| 権利擁護業務報告・レビュー会議 | 権利擁護業務担当者<br>(社会福祉士中心)        | 12回(月1回)               |
| ケアマネジャー支援会議     | ケアマネジャー支援担当者<br>(主任介護支援専門員中心) | 7回(概ね2ヶ月1回)<br>※3月臨時開催 |
| 介護予防事業連絡会       | 介護予防事業担当者<br>(保健師中心)          | 6回(概ね2ヶ月1回)            |

##### 2) 総合相談支援・権利擁護業務

###### ①総合相談支援

総合相談は、9ヶ所の地域包括支援センターや、その他関係機関と連携しながら、詳細な情報収集を行うことにより、介護保険サービスをはじめとした制度や地域資源の利用等、高齢者等への総合的な支援を実施しました。

相談受付件数・相談内容(複数回答)

(単位:件)

| 年度          | サービス関連 | 介護生活相談<br>関連 | 権利擁護関連 | その他 | 合計    |
|-------------|--------|--------------|--------|-----|-------|
| 令和2(2020)年度 | 254    | 459          | 817    | 45  | 1,575 |
| 令和3(2021)年度 | 259    | 477          | 747    | 42  | 1,525 |
| 令和4(2022)年度 | 286    | 617          | 834    | 35  | 1,772 |

相談者数

(単位：件)

| 年度          | 本人・家族等 | 地域住民 | 地域包括 | 関係機関 | その他 | 合計    |
|-------------|--------|------|------|------|-----|-------|
| 令和2(2020)年度 | 199    | 17   | 633  | 362  | 19  | 1,230 |
| 令和3(2021)年度 | 216    | 24   | 553  | 346  | 22  | 1,161 |
| 令和4(2022)年度 | 230    | 20   | 655  | 337  | 31  | 1,273 |

※関係機関…ケアマネジャー・介護サービス事業所、行政関係者、警察、高齢者関係機関・施設障がい者関係機関・施設、児童関係機関・施設、医療機関等

※地域住民には、民生委員児童委員も含む

## ②虐待・権利擁護関係

### ・高齢者虐待等への対応

高齢者等に対する虐待の予防及び早期発見に努めるとともに、虐待ケースが発見された場合には、伊丹市及び9ヶ所の地域包括支援センターと、速やかにコアメンバー会議（支援方針決定会議）を開催することにより、必要な対応を検討し、高齢者本人や家族に対する適切な支援、継続的な見守りにつなげられるよう取り組みました。

令和4(2022)年度は、虐待に関する新規相談件数が前年より20件増加しました。コロナ禍においては相談件数が減少傾向でしたが、社会活動が再開されたことで様々な窓口から相談があったことなどが増加の要因として考えられます。

### ・虐待の新規相談・通報件数・・・145件（前年度：125件）

実態把握の結果、虐待を受けたと判断した事例は105件、虐待を受けたと疑われる事例は35件でした。コアメンバー会議を開催し虐待でないと判断した件数は5件でした。

※令和元(2019)年度からは、新規相談・通報件数に、虐待でないと判断した件数も含めて記載しています。

## 虐待の種別・類型（複数回答）

(単位：件)

|             | 身体的虐待     | 介護等放棄     | 心理的虐待     | 性的虐待    | 経済的虐待     | 合計  |
|-------------|-----------|-----------|-----------|---------|-----------|-----|
| 令和2(2020)年度 | 64(41.8%) | 16(10.5%) | 56(36.6%) | 1(0.6%) | 16(10.5%) | 153 |
| 令和3(2021)年度 | 76(44.7%) | 22(12.9%) | 63(37.1%) | 1(0.6%) | 8(4.7%)   | 170 |
| 令和4(2022)年度 | 69(39.4%) | 18(10.3%) | 80(45.7%) | 0(0.0%) | 8(4.6%)   | 175 |

## 虐待への対応

(単位：件)

| 区分            | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 |
|---------------|-------------|-------------|-------------|
| 新規相談受付        | 126         | 125         | 145         |
| （内、虐待でなかった件数） | 5           | 2           | 5           |
| コアメンバー会議      | 130         | 128         | 153         |
| 終了            | 124         | 101         | 121         |
| 継続支援          | 251         | 273         | 292         |

※継続支援の件数には、虐待でなかったと判断した件数は除いています。

※市内で転居があった事例（6件）については、新規相談受付・終了ともに件数に含んでいません。また、既存ケースで状況の変化によるコアメンバー会議（8件）の実施については新規相談受付件数には含んでいません。

・高齢者虐待防止ネットワーク会議

高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（平成17年法律第124号）の規定により、養護者による高齢者虐待の防止、養護者による虐待を受けた高齢者の保護及び養護者に対する支援を適切に実施し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるまちの実現を図ることを目的として、平成30(2018)年度より「伊丹市高齢者虐待防止ネットワーク会議」を設置しました。

令和4(2022)年度においては新型コロナウイルス感染拡大防止の対策を行いながら、伊丹市の現状の共有や、事例検討を用いた情報交換・意見交換を行いました。引き続き関係機関の相互の理解を進めることで連携の強化を図っていきます。

| 開催日   | 内 容   |
|-------|---|
| 5月20日 | 「コロナ禍における高齢者虐待対応の実態について」伊丹市の現状と課題の報告・伊丹市内の主な地域活動の状況 等、「緊急対応時の状況について」（意見交換）、「伊丹市高齢者虐待防止（予防）マニュアルの見直しについて」（意見交換）等 |
| 3月16日 | 事例検討：事例を用いてそれぞれの専門性から見える課題や今後の支援について（意見交換）等   |

③地域ケア会議（個別ケア会議）の開催

高齢者の個別課題の解決と個別ケースの課題分析を行うことによる地域課題の把握を目的とし、その過程において、地域住民と専門職のネットワークの構築をめざした「個別ケア会議」について、地域包括支援センターが中心となり、8回開催しました。

包括圏域別開催状況

(単位：回)

|             | 伊丹<br>摂陽 | 花里<br>昆陽里 | 桜台<br>池尻 | 神津<br>有岡 | 天神川<br>荻野 | 南 | 緑丘<br>瑞穂 | 稲野<br>鴻池 | 笹原<br>鈴原 | 計 |
|-------------|----------|-----------|----------|----------|-----------|---|----------|----------|----------|---|
| 令和2(2020)年度 | 1        | 0         | 0        | 2        | 0         | 1 | 0        | 0        | 0        | 4 |
| 令和3(2021)年度 | 0        | 1         | 0        | 0        | 0         | 0 | 0        | 1        | 0        | 2 |
| 令和4(2022)年度 | 0        | 1         | 0        | 1        | 6         | 0 | 0        | 0        | 0        | 8 |

④多職種連携会議（地域包括圏域ごとのケア会議）の開催

平成28(2016)年度より実施している、個別ケア会議から課題解決の積み重ねを通じて見えてくる地域課題を共有し、医師、歯科医師、薬剤師などの医療専門職や地域包括支援センター、ケアマネジャー、介護事業所などの介護専門職、そして、地域住民がそれぞれの立場で知恵を出し合いながら、「できる限り住み慣れた地域で安心して生活し続けられる地域づくり」について話し合う場として、平成29(2017)年度より、地域包括支援センター圏域ごとに「多職種連携会議」を開催しました。コロナ禍が続く中、令和4(2022)年度は参集型だけでなく、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにオンライン形式や、参集型とオンラインのハイブリッド型などにより開催しました。

地域包括圏域別開催状況

(単位：回)

|             | 伊丹<br>摂陽 | 花里<br>昆陽里 | 桜台<br>池尻 | 神津<br>有岡 | 天神川<br>荻野 | 南 | 緑丘<br>瑞穂 | 稲野<br>鴻池 | 笹原<br>鈴原 | 計  |
|-------------|----------|-----------|----------|----------|-----------|---|----------|----------|----------|----|
| 令和2(2020)年度 | 0        | 1         | 1        | 1        | 1         | 1 | 0        | 2        | 1        | 8  |
| 令和3(2021)年度 | 1        | 1         | 1        | 1        | 2         | 2 | 2        | 3        | 1        | 14 |
| 令和4(2022)年度 | 0        | 2         | 2        | 1        | 2         | 2 | 1        | 2        | 0        | 12 |

3) 介護予防事業

新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、健康教育など人が集まる介護予防事業の開催依頼が減少した状態が続いています。令和3(2021)年度に比べると開催回数が増加しましたが、コロナ禍前の状況には戻っておらず、感染予防を目的とした自粛生活は、高齢者のフレイルの進行を招くことから、介護予防事業連絡会において、コロナ禍における対応策について意見交換を行った結果、以下の取り組みを実施しました。

① コロナ禍におけるいきいき百歳体操の活動支援

新型コロナウイルスが感染拡大した令和2(2020)年度以降、いきいき百歳体操に取り組む団体は解散することなく、感染拡大期に活動を休止する傾向にありましたが、令和4(2022)年度は安定的に活動を継続する団体が増えてきました。活動を再開する際には、感染予防対策等の情報提供や支援を行いました。

② リハビリ専門職（伊丹市POSネットワーク※）と協力してコロナ禍における自粛生活でも取り組むことができる介護予防方法の周知

新型コロナウイルスの感染拡大以前は、いきいき百歳体操に取り組む団体に対して、伊丹市POSネットワークなどから、リハビリ職を派遣して体操指導を行っていましたが、コロナ禍においては、いきいき百歳体操の活動を自粛するグループが多く、リハビリ職派遣の依頼も減ったため、伊丹市POSネットワークと介護保険課が自宅でも取り組むことができる体操を掲載したチラシを作成し、地域包括支援センターは住民指導に活用をしました。また、リハビリ職ではなく、地域包括支援センターが体操指導も行いました。

※伊丹市POSネットワーク:伊丹市内の有志のリハビリ職の団体で、いきいき百歳体操の指導などを行っている。

4) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

高齢者の生活支援を継続的に行うため、地域の関係機関と連携を図るとともに、地域のケアマネジャーへの支援について、地域包括支援センターとともに一体的に取り組みました。

① 連携会議等への参加

- ・ 地域密着型サービス事業所連絡会（書面開催 2回）
- ・ 伊丹市医師会認知症対応向上委員会（6月16日、12月14日実施）  
※認知症事業にも記載
- ・ 伊丹市介護保険課・市立伊丹病院・基幹型包括連携会議（年間を通して中止）



## ②ケアマネジャーへの支援

ケアマネジャー支援会議を定期的を開催することと、市内のケアマネジャーに対する一体的な支援を進めました。具体的には、市内の居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャーの連携体制の強化を目的とした「介護支援専門員連携会」の開催や地域包括支援センター主任介護支援専門員と居宅介護支援事業所主任介護支援専門員が協働したケアマネジャー支援の取り組み（ケアマネジメント支援会議）の開催、市内のケアマネジャー等への支援や資質向上を目的とした研修会等を開催しました。また、地域包括支援センター職員向け研修会の実施、伊丹市福祉権利擁護センター開催の事例検討会への参加等、支援者支援の資質向上をめざしました。

更に、地域ケア会議では、自立支援に資するケアマネジメント支援の強化を図ることを目的とした「自立支援ケア会議」を年12回実施しました。また、市内の居宅介護支援事業所への巡回訪問を通じて、「介護支援専門員が抱える課題や悩み」をテーマにケアマネジャーの取り組みと課題等について意見交換を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインでの開催もありましたが、感染対策に配慮をしながら支援者同士が顔を合わせて意見交換を行える場づくりにも取り組みました。

介護支援専門員連携会 対象者：市内の居宅介護支援事業所に所属するケアマネジャー

| 実施日<br>実施方法           | 内 容  |
|-----------------------|--|
| 5月10日<br>書面開催         | 第1回 介護支援専門員連携会（介護保険サービス事業者連絡会で周知）新年度の介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務マニュアルについて   |
| 11月30日<br>オンライン<br>開催 | 第2回 介護支援専門員連携会<br>①講義「相談現場におけるハラスメントへの対応<br>～正しく理解して適切な対応へつなげる～」<br>ゆい社会保険労務士事務所 山本 勝之 氏<br>② 意見交換会<br>③ その他連絡事項 |

包括的・継続的ケアマネジメント研修等

| 実施日                  | 内 容   | 対象者   |
|----------------------|---|---|
| 6月30日<br>オンライン<br>開催 | （ケアマネ支援スーパーバイズ機能強化研修）<br>地域包括支援センター主任ケアマネ中心研修<br>「より良い人材育成を目指してパート2<br>～相手と向き合うために、必要なことは何か～」<br>講師：朝来市 さかもと医院居宅介護支援事業所<br>主任介護支援専門員 三多 久美子 氏・中尾 照美 氏 | 地域包括支援センター主任<br>ケアマネジャー・居宅<br>介護支援事業所主任ケ<br>アマネジャー他 |
| 7月29日<br>オンライン<br>開催 | （自立支援に資するケアマネジメント向上研修）<br>「アセスメントの結果を自分の言葉で表現しよう！ ～課題整理総括表を活用して思考のプロセスを言語化しよう～」<br>講師：株式会社日本総合研究所 創発戦略センター<br>シニアマネジャー 齊木 大 氏                         | ケアマネジャー・<br>地域包括支援センター 他                            |

| 実施日                               | 内 容   | 対象者  |
|-----------------------------------|---|--|
| 8月19日                             | (介護予防事業推進研修)<br>地域包括支援センター保健師中心研修<br>「高齢者の精神症状に潜む認知症について<br>～介入初期段階のアセスメント～」<br>講師：市立伊丹病院認知症疾患医療センター<br>臨床心理士 後藤 貴一 氏         | 地域包括支援センター<br>保健師・市職員 他                          |
| ①11月17日<br>②12月15日<br>オンライン<br>開催 | (権利擁護ケース対応力向上研修)<br>地域包括支援センター社会福祉士中心研修<br>① 「成年後見制度の相談対応（窓口対応編～初級編～）」<br>② 「成年後見制度の手続き（申立て支援～中級編～）」<br>講師：伊丹市福祉権利擁護センター 増田達哉 | 地域包括支援センター<br>社会福祉士・市職員<br>他                     |
| 1月13日<br>オンライン<br>開催              | (高齢者虐待対応力向上研修)<br>「実際どうなの?! 高齢者虐待の入り口と初期対応について～<br>通報までのプロセスと、その後の対応～」<br>講師：神戸学院大学総合リハビリテーション学部<br>准教授 水上 然 氏                | ケアマネジャー・<br>地域包括支援センター・<br>介護サービス提供<br>事業所・市職員 他 |
| 2月24日                             | (対人援助技術向上研修)<br>「上手く伝えるために知っておきたいこと<br>～伝えるための気づきと、伝えるコツを学ぶ～」<br>講師：ライター・コミュニケーションアドバイザー・<br>パソコン講座コーディネーター 波多江 みゆき 氏         | ケアマネジャー・<br>地域包括支援センター 他                         |
| 3月10日                             | (多職種連携強化（地域包括ケア推進）研修)<br>「複合課題を抱える世帯への理解とこれからの支援について」<br>講師：山口大学大学院 医学系研究科 教授・<br>NPO 法人ふらっとコミュニティ理事長 山根 俊恵 氏                 | ケアマネジャー・<br>地域包括支援センター<br>・市職員 他                 |

- ・伊丹市ケアマネジメント支援会議の実施（事例検討）（市内4エリアで実施）  
内 容：昨年度の振り返り、ケアマネジメント支援会議（事例検討・振り返り）の開催、  
意見交換・学習会の開催  
対象者：地域包括支援センター主任ケアマネジャー、居宅介護支援事業所主任ケアマネ  
ジャー、市介護保険課  
実 施：5月・7月・9月・11月・1月（一部2月）・3月（市内4エリアで実施）  
※また、一部の参加対象者向けに事前学習会（5回シリーズ）を開催しました。
- ・伊丹市自立支援ケア会議の実施  
内 容：伊丹市自立支援ケア会議（4事例実施）  
参加者：（事例提供者）居宅介護支援事業所ケアマネジャー、サービス提供事業所  
（アドバイザー）理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、  
地域包括支援センター、市介護保険課  
実 施：年12回

地域包括支援センター主任介護支援専門員での居宅介護支援事業所への巡回訪問

|      |   |
|------|---|
| 実施期間 | 11月1日～1月31日   |
| 対象者  | 市内の委託居宅介護支援事業所（市内50事業所）のケアマネジャー   |
| 実施内容 | 令和3（2021）年度実施の巡回訪問アンケートを基に介護支援専門員が抱えている課題や悩み（業務範囲の広さ、責任の重さ等）について、事業所を訪問し、共有・意見交換を行いました。 |

（2）認知症ケアの向上

1）認知症地域支援推進員設置事業（伊丹市委託事業） 6,676,340円

認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、認知症の容態に応じ、全ての期間を通じて必要な医療・介護及び生活支援を行うサービス機関が有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への効果的な支援体制を構築するとともに、認知症ケアの向上を図るための取り組みを推進することを目的に、医療や介護の関係機関等の連携支援や認知症の人やその家族を支援する体制づくり等に取り組みました。

今後は、当事者同士の出会う場や当事者の声を地域づくりや施策に反映することをめざし、当事者の直面する課題の把握、当事者をサポートする人・機関の連携構築を行います。

①「認知症ケア多職種研究会」の開催

医療と介護の連携強化や地域における支援体制の構築を図ることを目的に「認知症ケア多職種研究会」を毎年1～2回程度開催しています。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和4（2022）年度は開催できませんでしたが、令和5（2023）年度は本研究会を再開し、令和7（2025）年度からのチームオレンジ設置に向けた検討含め、市内の認知症の課題について、活発な意見交換を実施していきます。

参加組織：医師会、歯科医師会、薬剤師会、介護支援専門員協会伊丹支部、民生委員児童委員連合会、地域密着型サービス事業所、認知症等介護者家族会、伊丹市介護保険課、コミュニティワーカー兼生活支援コーディネーター、地域包括支援センター

②「認知症ケア多職種協働研修会」の開催

多職種間での情報共有や互いの役割・機能の理解を深める機会として「認知症ケア多職種協働研修会」をオンラインにて開催しました。今後もオンラインあるいは参集型と、状況に合わせて開催し、出来るだけ講師や参加者が意見を交わせるようワーク等も取り入れていきます。

| 実施日               | 対象者  | 内容   |
|-------------------|--|--|
| 11月14日<br>オンライン開催 | 医師、歯科医師、薬剤師、医療関係者、居宅介護支援事業所職員、介護サービス提供事業所職員、行政職員、地域包括支援センター職員等 | 「認知症のアセスメントと多職種連携」<br>講師：市立伊丹病院 認知症疾患医療センター<br>臨床心理士 後藤 貴一氏<br>講義：認知症の症状の理解に加え、類似した精神疾患について学ぶことで、疾患の本質を見極め、さまざまな視点を持って支援することを目指す |

### ③ 認知症フォーラムの開催

広く市民を対象に認知症の理解の普及・啓発を目的に年 1 回開催しています。令和 4 (2022)年度は市立伊丹病院認知症疾患医療センターより、アルツハイマーデーに合わせたイベントの共催依頼があり、「いたみオレンジフェア～認知症、1 人で悩まず共に繋がろう～」と題して共同開催しました。

| 実施日                  | 対象者      | 内 容   |
|----------------------|----------|---|
| 9月15日<br>オンライン<br>開催 | 伊丹<br>市民 | 「いたみオレンジフェア～認知症、1 人で悩まず共に繋がろう～」<br>・前半(講義)<br>講師：市立伊丹病院 認知症疾患医療センター<br>老年内科・地域医療連携室部長 医師 伊東範尚 氏<br>講義：認知症の症状について理解した上で、本人の想いを尊重して接することの大切さを学ぶ<br>・後半(展示・資料)<br>認知症に関する相談窓口や集いの場に関する資料・書籍を設置し、自由に閲覧してもらいました。 |

### ④ 「認知症サポーター養成講座」の開催

関係機関、民間企業、一般市民等から依頼を受け、認知症の人と家族への応援者を養成する「認知症サポーター養成講座」を伊丹市、地域包括支援センターと連携し開催しました。

#### ・認知症サポーター養成講座

実施回数：1 回 受講者：生活援助ヘルパー(7月11日実施) 受講人数：5 人

※天神川・荻野地域包括支援センターと共催

#### ・市民向け認知症サポーター養成講座

実施回数：3 回 受講人数：27 人 (6月27日実施)

31 人 (10月5日実施)

33 人 (3月13日実施)

### ⑤ 認知症サポーターステップアップ講座の開催

認知症サポーターを実際の活動者に繋げるために、ボランティア・市民活動センターと共催で、より深い知識の提供と、市内の活動実践者からの活動報告をしました。

令和 3 (2021)年度は全ての行程を 1 日で実施しましたが、令和 4 (2022)年度は 2 日間に分けて実施することで、講義と活動報告のどちらもより深く学べるような形にしました。

内 容：1 日目(12月12日)：市内の専門職による講義

2 日目(12月22日)：市内の活動団体による活動報告

受講者数：22 人(1 日目) / 19 人(2 日目)

#### ⑥認知症カフェの立ち上げ支援・継続支援

コミュニティワーカー兼生活支援コーディネーターと協働で、認知症の人やその家族、医療や介護の専門職、地域住民など、誰もが気軽に参加できる集いの場として開催する「認知症カフェ」の運営支援に取り組みました。

本人・家族等のニーズに合ったカフェについて情報提供し、同じ悩みを持つ家族が互いに知り合い、悩みを相談し合える場を作ることができました。また、認知症カフェの活動に興味を持つ専門職を積極的に招き、活動を知っていただくこと、専門職として参加者に助言いただける場作りに取り組みました。

##### ・認知症カフェ交流会

実施回数：1回 出席人数：10人（6月3日実施）

市内6か所の認知症カフェの運営者が集い、意見交換する場を設けました。オブザーバーに市立伊丹病院認知症疾患医療センターの医師・心理士・相談員に出席いただき、カフェ運営者との繋がり作り、それぞれの活動について知っていただく機会としました。

#### ⑦伊丹市医師会主催「認知症対応向上委員会」への参加

伊丹市医師会が実施する「認知症対応向上委員会」へ参加し、医師との定期的な情報共有を行いました。（6月16日、12月14日実施）

#### ⑧伊丹市認知症疾患医療センター・地域包括支援センター交流会（12月8日）

認知症疾患医療センターと地域包括支援センターとの交流会の開催に協力しました。

### （3）高齢者実態調査の実施 （伊丹市委託事業） 3,725,992円

ひとり暮らし高齢者及びその他高齢者等の実態を把握するため、伊丹市民生委員児童委員連合会の協力を得て高齢者実態調査を実施しました。

令和3(2021)年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調査時期を変更していましたが、令和4(2022)年度は例年通り6月1日から7月1日までの調査期間で実施しました。

調査方法については、訪問面接を基本としましたが、感染の拡大を考慮し、電話による聞き取りや対象者からの郵送による調査も可能としました。

- ・調査対象：令和3(2021)年6月1日時点で、70歳以上のひとり暮らし及び同居の方がいても見守り等の支援を要する市民
- ・調査方法：訪問面接。状況に応じて電話による聞き取り及び郵送調査。
- ・調査結果：

ひとり暮らし高齢者数 6,806人（男：1,866人・27.4% 女：4,940人・72.6%）

その他高齢者数 2,344人（男：624人・26.6% 女：1,720人・73.4%）

(4) 生活困窮者等の相談支援の充実 17,628,255 円

伊丹市が設置する生活困窮者自立支援事業「くらし・相談サポートセンター」の相談支援員として、本会職員3人を在籍型出向させ、市役所内の各部署の他、地域住民をはじめ関係機関・団体等と連携を行い、市民一人ひとりに寄り添いながら支援を行いました。また、本会が実施する生活福祉資金貸付事業や福祉サービス利用援助事業、権利擁護事業等とも連携を図り、個別ケース会議等には担当職員が参画しました。

(5) 伊丹市地域生活支援センターの充実 (伊丹市委託事業) 23,651,208 円  
(指定特定相談事業所) 3,225,305 円

伊丹市地域生活支援センターは、障がいのある人が地域で安心して自立した生活を営めることを目的に、伊丹市および3ヶ所の障害者相談支援事業所（アイ愛センター障害者生活支援・ウィズゆう・いたみコミュニティケアセンター）と相互に連携し、障がいのある人（身体障がい・知的障がい・精神障がい）及びその家族の総合相談窓口として下記の事業に取り組みました。

相談件数 (単位：件)

| 年 度         | 開設日数 | 相談件数  |     |       |       |
|-------------|------|-------|-----|-------|-------|
|             |      | 電話等   | 来所等 | 訪 問   | 計     |
| 令和2(2020)年度 | 243  | 5,882 | 580 | 1,214 | 7,676 |
| 令和3(2021)年度 | 242  | 5,026 | 486 | 929   | 6,441 |
| 令和4(2022)年度 | 243  | 5,795 | 534 | 1,052 | 7,381 |

相談対象者区分 (単位：件)

|             | 身体障がい者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | 児童 | その他 | 計     |
|-------------|--------|--------|--------|----|-----|-------|
| 令和2(2020)年度 | 711    | 3,605  | 2,919  | 18 | 423 | 7,676 |
| 令和3(2021)年度 | 597    | 2,750  | 2,626  | 6  | 462 | 6,441 |
| 令和4(2022)年度 | 687    | 3,566  | 2,792  | 22 | 314 | 7,381 |

### 1) 障がい者生活支援

障がいのある人が、地域で安心して自立生活を営むことができるよう関係機関と連携しながら支援しました。

#### ① 生活相談

相談内容 (単位：件)

|             | 福祉サービス等 | 地域・家庭生活等 | 権利擁護 | 介護・医療等 | 進路・療育 | その他 | 計     |
|-------------|---------|----------|------|--------|-------|-----|-------|
| 令和2(2020)年度 | 3,021   | 990      | 584  | 713    | 141   | 94  | 5,543 |
| 令和3(2021)年度 | 2,303   | 883      | 465  | 686    | 155   | 84  | 4,576 |
| 令和4(2022)年度 | 2,553   | 733      | 478  | 606    | 162   | 11  | 4,543 |

対応内容

(単位：件)

|             | 福祉サービス利用 | 連絡調整  | 情報提供 | 助言傾聴 | 実態把握同行支援 | カフェイン | その他 | 計     |
|-------------|----------|-------|------|------|----------|-------|-----|-------|
| 令和2(2020)年度 | 99       | 2,555 | 343  | 99   | 2,388    | 46    | 13  | 5,543 |
| 令和3(2021)年度 | 200      | 1,593 | 426  | 222  | 2,079    | 28    | 28  | 4,576 |
| 令和4(2022)年度 | 34       | 1,701 | 486  | 150  | 2,138    | 31    | 3   | 4,543 |

## 2) サービス等利用計画作成支援（平成24(2012)年度～）

伊丹市より「指定特定相談支援事業所」の指定を受け、障がい福祉サービスを利用する障がいのある人に対して、サービス等利用計画作成の支援を行いました。

利用契約件数

(単位：件)

| 区分              | 身体障がい者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | 児童 | その他 | 計  |
|-----------------|--------|--------|--------|----|-----|----|
| 総契約者数           | 12     | 30     | 25     | 0  | 0   | 67 |
| 令和4(2022)年度契約者数 | 0      | 1      | 4      | 0  | 0   | 5  |

計画作成支援件数

(単位：件)

|             | 計画作成支援 | モニタリング | 計   |
|-------------|--------|--------|-----|
| 令和2(2020)年度 | 66     | 167    | 233 |
| 令和3(2021)年度 | 68     | 150    | 218 |
| 令和4(2022)年度 | 68     | 159    | 227 |

## 3) 関係機関との連携

相談支援事業所として、様々な関係機関等との連携を積極的に行い、相談支援ネットワークの構築に取り組みました。

### ①「伊丹市障害者地域自立支援協議会」事務局の運営

伊丹市および3ヶ所の市委託相談支援事業所とともに「伊丹市障害者地域自立支援協議会」の事務局を担当し、地域課題の集約やその発信と協議、各検討会実施事業などを通じて、様々な関係機関との連携に取り組みました。（詳細については、52ページへ記載）

### ②「伊丹市福祉事業所合同説明会」への協力

伊丹市障がい福祉事業所合同説明会において、生活および就労の相談支援機関として参加し、相談対応を行いました。（1回）

### ③「伊丹市障害者相談支援事業所連絡会」への参加

伊丹市および19ヶ所の指定特定相談支援事業所とともに連絡会へ参加し、事例検討などを中心に相互の資質向上、連携体制の構築に取り組みました。（6回）

④「阪神北圏域相談支援専門員定例連絡会」への参加

阪神北圏域の相談支援事業所とともに連絡会へ参加し、情報共有などを中心に相互の資質向上、連携体制の構築に取り組みました。（6回）

⑤「阪神北圏域主任相談支援専門員定例連絡会」への参加

阪神北圏域の主任相談支援専門員とともに連絡会へ参加し、情報共有や相談支援専門員の育成について検討し、主任相談支援専門員間の連携体制の構築に取り組みました。（6回）

4) 障がい者就労支援

障がいのある人が生きがいをもって自立した生活ができるよう就労に向けた相談・支援を実施しました。

①就労相談

総合相談の一環として、障がいのある人の就労に伴う相談・支援を実施しました。

相談内容 (単位：件)

|             | 求職関係 | 職場実習関係 | 制度利用関係 | 就労上の悩み関係(定着支援) | その他 | 計     |
|-------------|------|--------|--------|----------------|-----|-------|
| 令和2(2020)年度 | 539  | 63     | 103    | 1,328          | 100 | 2,133 |
| 令和3(2021)年度 | 447  | 78     | 95     | 1,204          | 41  | 1,865 |
| 令和4(2022)年度 | 631  | 40     | 149    | 2,011          | 7   | 2,838 |

対応内容 (単位：件)

|             | 情報提供 | 助言  | 連絡調整・連携 | 同行支援・実態把握 | 職場実習・制度活用 | ケースカンファレンス | その他 | 計     |
|-------------|------|-----|---------|-----------|-----------|------------|-----|-------|
| 令和2(2020)年度 | 183  | 70  | 795     | 992       | 63        | 16         | 14  | 2,133 |
| 令和3(2021)年度 | 105  | 124 | 568     | 944       | 106       | 15         | 3   | 1,865 |
| 令和4(2022)年度 | 362  | 190 | 829     | 1287      | 164       | 6          | 0   | 2,838 |

②就労支援・職場開拓

一般就労の更なる促進のため、職業紹介に関する相談・求人開拓等に取り組みました。

登録者数 (単位：人)

| 区分              | 身体障がい者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | その他 | 計   |
|-----------------|--------|--------|--------|-----|-----|
| 総登録者数           | 78     | 234    | 177    | 19  | 508 |
| 令和4(2022)年度登録者数 | 1      | 15     | 6      | 0   | 22  |

就職者数 (単位：人)

| 区分   | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 |
|------|-------------|-------------|-------------|
| 就職者数 | 28          | 29          | 24          |



・職場開拓等

求職者情報を作成し、ハローワーク伊丹と協働し、一般就労に結びつけるために職場開拓および実習先確保等に取り組みました。

| 区 分        | 令和 2(2020)年度 | 令和 3(2021)年度 | 令和 4(2022)年度 |
|------------|--------------|--------------|--------------|
| 職場開拓回数 (延) | 4 回          | 8 回          | 8 回          |
| 事業所訪問数 (延) | 273 回        | 271 回        | 263 回        |
| 職場実習受入事業所数 | 4 社          | 8 社          | 7 社          |

・職場実習支援

就職に向けて障がいのある人が、多くの職種を体験するとともに、就職後の職場環境に順応できるように職場実習を支援しました。

| 区 分            | 令和 2(2020)年度 | 令和 3(2021)年度 | 令和 4(2022)年度 |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 職場実習実施事業所数     | 4 事業所        | 8 事業所        | 7 事業所        |
| 職場実習実施者数 (実人数) | 4 人          | 8 人          | 4 人          |
| 職場実習支援数 (延回数)  | 63 回         | 78 回         | 54 回         |

対応内容 (就労準備支援)

(単位：件)

|              | 情報提供 | 助言 | 連絡調整・連携 | 同行支援・実態把握 | 職場実習・制度活用 | ケースカンファレンス | その他 | 計   |
|--------------|------|----|---------|-----------|-----------|------------|-----|-----|
| 令和 2(2020)年度 | 61   | 21 | 213     | 233       | 2         | 4          | 3   | 537 |
| 令和 3(2021)年度 | 45   | 32 | 175     | 226       | 42        | 3          | 2   | 525 |
| 令和 4(2022)年度 | 102  | 45 | 191     | 291       | 40        | 2          | 0   | 671 |

※令和 3(2021)年度より集計方法を変更しています。

・職場定着支援

就職されている障がいのある人に、仕事のことや職場での対人関係などの相談、生活面の相談、復職する際の相談支援なども含んだ職場定着支援を行いました。

| 区 分            | 令和 2(2020)年度 | 令和 3(2021)年度 | 令和 4(2022)年度 |
|----------------|--------------|--------------|--------------|
| 職場定着支援実施事業所数   | 79 事業所       | 86 事業所       | 100 事業所      |
| 職場定着支援者数 (実人数) | 101 人        | 131 人        | 158 人        |

対応内容 (職場定着支援)

(単位：件)

|              | 情報提供 | 助 言 | 連絡調整・連携 | 同行支援・実態把握 | 職場実習・制度活用 | ケースカンファレンス | その他 | 計     |
|--------------|------|-----|---------|-----------|-----------|------------|-----|-------|
| 令和 2(2020)年度 | 110  | 44  | 480     | 678       | 3         | 8          | 5   | 1,328 |
| 令和 3(2021)年度 | 58   | 89  | 355     | 690       | 0         | 11         | 1   | 1,204 |
| 令和 4(2022)年度 | 249  | 145 | 625     | 988       | 0         | 4          | 0   | 2,011 |

・就労サポーターによる就労支援

職場実習等を含む就労準備支援から職場での人間関係や仕事の習得に対する不安解消のため継続的に職場定着支援を行う「就労サポーター」を平成 28(2016)年度から 2 人配置しました。

| 区 分         | 令和 2(2020)年度 | 令和 3(2021)年度 | 令和 4(2022)年度 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
| 職場実習支援回数    | 63 回         | 78 回         | 53 回         |
| 職場定着支援回数    | 1,273 回      | 1,104 回      | 1,897 回      |
| 就労支援連絡会議等回数 | 24 回         | 22 回         | 24 回         |

※就労支援連絡会議終了後のケース共有・検討会議を含む。

### ③関係機関との連携

相談支援事業所として、様々な関係機関等との連携を積極的に行い、就労支援に係る職場実習の調整やネットワークの構築に取り組みました。

#### ・行政との連携

伊丹市障害者地域自立支援協議会の事務局として、障がい者就労支援体制の整備等に向けた協議や検討に取り組みました。また、伊丹市が実施する「障害者就労チャレンジ事業」をバックアップし、対象者の能力把握、相談対応、各関係機関等の連絡調整を行いました。

#### ・教育機関との連携

兵庫県立こやの里特別支援学校、兵庫県立阪神昆陽特別支援学校の進路相談会への参加し教育機関との連携を図りました。さらに、こやの里特別支援学校においては、保護者向けの地区懇談会に参加し、伊丹市における障がいのある人への就労支援の現況を報告しました。また、令和 2(2020)年度より発足した「阪神発達障害学生就職支援ネットワーク研修」に参加しました。大学等学校関係職員より、具体的なケース相談を通じ、連携、対応を図るなど、教育機関との支援ネットワークも広がっています。

#### ・伊丹しごとネットワーク

伊丹しごとネットワークでは、障害者の就労支援に向けチーム支援の推進と支援者のスキルアップを目的に、様々な関係機関等との連携を積極的に行い、支援ネットワークの構築に取り組みました。伊丹市障害福祉課・阪神北障害者就業・生活支援センターとともに事務局を担い、市内障害福祉サービス事業所等と運営会議を開催し（5回）、情報交換やスキルアップに向けた研修等の企画などの協議を重ね、計3回実施しました。

| 実施日   | 内 容   | 人数  |
|-------|---|-----|
| 9月27日 | 第1回<br>講座「アンダーコントロールを学ぶ～日々の支援に活かそう～」<br>グループワーク<br>講師：兵庫障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 山口 理沙 氏             | 49人 |
| 12月6日 | 第2回※スキルアップ講座として開催<br>講座「発達障害の基礎知識と疑似体験」<br>講師：社会福祉法人かがやき神戸 神戸市発達障害者北部相談窓口<br>相談支援員 山田 操 氏         | 31人 |
| 2月21日 | 第3回<br>① 「障害者雇用について～企業での取り組み紹介～」<br>発表：NS ハートフルサービス関西株式会社 / 昌和不動産株式会社<br>クボタワークス株式会社<br>② グループワーク | 35人 |

・阪神北及び阪神南圏域の就労支援機関との連携

阪神北障害者就業・生活支援センターとの連絡会を計6回実施し、具体的なケースを通じて、情報共有や今後の支援体制のあり方について検討しました。また、阪神北県民局圏域で開催された「阪神北圏域障害者雇用・就業支援ネットワーク会議」（2回）や「阪神北圏域連絡会」（2回）に参加し、コロナ禍における就労支援や、情報共有、今後の支援体制のあり方などについて圏域内での連携を深めました。一方、阪神北県民局と阪神北障害者就業・生活支援センターが主催する「阪神北地域障害者就労支援シンポジウム」には、協力団体として参加しました。

また、令和3(2021)年度より始まった「阪神地域障害者就労支援センター情報交換会」(1回)に積極的に参加し、障害年金や家計相談支援について知識を深め、阪神地域の就労支援機関との連携を図りました。

・「仕事・就労を切り口にした地域づくり応援ワークショップ」への参加

令和3(2021)年度より始まった「多様な地域連携による就労支援」のワークショップの後継である市主催の「仕事・就労を切り口にした地域づくり応援ワークショップ」に計2回参加しました。就労体験プログラムづくりや、就労支援を行う各機関（生活困窮・高齢者・ひとり親など）で受け止めている「働きたい」と思っている方々にどのように相談対応をしていくのか意見交換を行いました。

④当事者向け就労支援研修会の開催

就職に向けて、スキルアップやモチベーションの向上を目的に「障がいのある方のステップアップ講座」を開催しました。自分は何のために働くのか、就職に向けてどんな準備が必要になるのか等、自分自身の強みや課題を知り今後の就職に向けて活用いただく機会としました。また参加いただきやすいよう、同日に時間帯を変え2回実施しました。

| 実施日    | 内 容   | 参加人数   |
|--------|---|--------|
| 11月11日 | テーマ：「自分自身のことについて知ろう！」<br>講師：ハンズ西宮 センター長 藤井 俊樹 氏<br>午前【講義・ワーク】<br>何のために働くのか？～働く目的は何か？～<br>障害者雇用で企業が求める人材～採用されやすい人の特徴～<br>「職業準備性チェックリスト」による自己分析 | 午前 9人  |
|        | 午後【個別ワーク】<br>自分の強みと課題を発見する  | 午後 11人 |

⑤就労支援従事者向け就労支援研修会の開催

障がいのある人の就労支援を行うにあたり、必要となる対人援助職としての知識を身につけ、就労支援のスキルアップをめざすことを目的に「障がい者就労支援従事者スキルアップ講座」を伊丹しごとネットワークと協働して開催しました。※再掲

5) 伊丹市障がい者市民福祉講演会による障がい啓発の推進

毎年、市民が障がいへの理解を深めることを目的に「伊丹市障がい者市民福祉講演会」を開催し、今年度は集合形式にて開催いたしました。大阪市にある大空小学校では障がいのある子もない子もみんな同じ教室で学んでいます。また教職員だけでなく、保護者、地域の大人たち、児童もいっしょになって、誰もが通い続けることができる学校を作り上げてきました。その取り組みを紹介したドキュメンタリー映画の上映と、実践の先頭にたってこられた初代校長の木村氏をお招きし多様性について考える機会としました。

| 実施日   | 内 容   | 参加人数 |
|-------|---|------|
| 1月16日 | テーマ：「多様性を認め合う世界を目指して～大空小学校の軌跡～」<br>【第1部】映画上映「みんなの学校」<br>【第2部】講演：大阪市立大空小学校 初代校長 木村 泰子氏 | 85人  |

6) 伊丹市障害者地域自立支援協議会の事務局運営（障害者福祉センターを含む）

4ヶ所の障害者相談支援事業所の一つとして、伊丹市とともに事務局を担当し、地域課題の集約や協議を通して、様々な関係機関との連携に取り組みました。

| 部 会        | 内 容  | 開催回数 |
|------------|--|------|
| 全体会        | ○第1回 ・今年度の協議会の体制について<br>・各検討会からの報告<br>・障害者福祉計画（第6期）実績について<br>・日中サービス支援型共同生活援助について<br>・伊丹市重度障害者等就労支援特別事業について<br>・伊丹市重度訪問介護利用者等大学等修学支援事業について<br>○第2回 ・部会・検討会の新設について<br>・各検討会からの報告<br>・日中サービス支援型共同生活援助の評価について | 2回   |
| 課題別<br>検討会 | ○就労移行支援検討会（拡大版含む）  | 5回   |
|            | ○発達障がい支援検討会（意見交換）  | 1回   |
|            | ○こども検討会  | 2回   |
|            | ○精神障がい者地域生活検討会   | 10回  |
| 部 会        | ○障害者差別解消支援部会   | 1回   |
|            | ○手話言語部会  | 1回   |

※全体会は新型コロナウイルス感染拡大防止のためハイブリッド方式で開催。

7) 普及啓発

「伊丹市地域生活支援センター通信」（1回）を発行し、伊丹商工会議所の協力を得て、会員企業約2,000社に配布しました。今年度は自立生活のひとつの形としてグループホーム（共同生活援助）について紹介し、関連企業や当事者の方に向け普及啓発に取り組みました。

(6) 重層的支援体制整備移行準備事業 (伊丹市委託事業) 38,540,866 円

1) コーディネーターの配置

伊丹市において、属性を問わない相談支援・参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に実施する包括的な支援体制の構築をめざし取り組む重層的支援体制整備事業を令和5(2023)年度から開始するにあたり、重層的支援体制整備移行準備事業に相談支援コーディネーター、参加支援コーディネーター、地域づくり支援コーディネーターを配置しました。

2) 包括化支援担当者の配置

重層的支援体制を整備するため、各課連携の窓口となる「包括化支援担当者」を、本会地域福祉推進室の「地域福祉推進担当」「福祉権利擁護センター」「(基幹型)地域包括支援センター」「地域生活支援センター」の主査が担っています。

3) 包括化支援担当者会議の開催

伊丹市の担当課と協働し、包括化支援担当者会議(年12回、事例を通じたケース検討である重層的支援会議・支援会議および重層的支援体制整備における協議や研修会)を開催し、相談支援コーディネーター、参加支援コーディネーター、地域づくり支援コーディネーター、包括化支援担当者が出席しています。重層的支援体制整備事業の一つである多機関協働事業のマニュアル作成を行い、「重層的支援会議・支援会議」を実施しました。

また、包括化支援担当者会議の開催や評価活動について検討するため、コーディネーター会議(年17回)を開催しています。

包括化支援担当者会議

| 日時     | 検討内容  |
|--------|---|
| 4月25日  | (1) 多機関協働事業マニュアル(案)について<br>(2) 包括化支援担当者会議の定期開催について  |
| 5月11日  | (1) 多機関協働事業マニュアル(案)について<br>(2) アウトリーチ支援に向けたグループワーク<br>①アウトリーチ支援における各課のイメージと現状について<br>②重層的支援体制整備事業におけるアウトリーチ支援について |
| 6月15日  | (1) アウトリーチ支援に向けたグループワーク<br>①重層的支援体制整備事業におけるアウトリーチ支援について   |
| 7月20日  | 第1回重層的支援会議・支援会議   |
| 8月17日  | 第2回重層的支援会議・支援会議   |
| 9月21日  | 第3回重層的支援会議・支援会議   |
| 10月19日 | 第4回重層的支援会議・支援会議   |
| 11月16日 | 第5回重層的支援会議・支援会議   |
| 12月21日 | 第6回重層的支援会議・支援会議   |

| 日時    | 検討内容  |
|-------|---|
| 1月18日 | (1) 研修「地域共生社会の理念及び包括的支援体制構築の必要性<br>～多様な相談者像を踏まえた必要性の理解～」<br>講師：朝比奈 ミカ 氏<br>(中核地域生活支援センターがじゅまるセンター長)<br>※令和4年度重層的支援体制整備事業人材養成研修基礎編<br>(厚生労働省) 動画使用<br>(2) グループワーク<br>(3) 第1回重層的支援会議・支援会議 6か月評価 |
| 2月15日 | (1) 第7回重層的支援会議・支援会議<br>(2) 第2回重層的支援会議・支援会議 6か月評価  |
| 3月15日 | (1) 第8回重層的支援会議・支援会議<br>(2) 第3回重層的支援会議・支援会議 6か月評価  |

#### 4) 包括化支援担当者向け研修会の開催（再掲）

包括化支援担当者会議出席者向けの研修会（年1回）を開催しました。

| 実施日   | 内 容  |
|-------|--|
| 1月18日 | (1) 研修「地域共生社会の理念及び包括的支援体制構築の必要性<br>～多様な相談者像を踏まえた必要性の理解～」<br>講師：朝比奈 ミカ 氏<br>(中核地域生活支援センターがじゅまる センター長)<br>※令和4年度重層的支援体制整備事業人材養成研修基礎編（厚生労働省）動画使用<br>(2) グループワーク |

#### 5) 拡大版包括化推進ネットワークの開催

拡大版包括化推進ネットワークの構築に向け、関係機関の職員に向け、重層的支援体制整備事業や多機関協働事業の取り組みについての説明会および研修会を開催しました。

##### ①説明会（7回）

(障害者委託相談支援事業所・障害者指定特定相談支援事業所・地域包括支援センター・利用者支援事業・伊丹市社会福祉協議会 各職員)

##### ②研修会（1回）

(兵庫県介護支援専門員協会伊丹支部会員)

## 推進目標 4 障がいのある人など生活課題を抱える人への支援を基盤とした共生のまちづくり

### 1. 障がいのある人など生活課題を抱える人の自立生活、社会参加の推進（社会参加、生活体験）

- (1) 伊丹市立障害者福祉センターの運営 (伊丹市指定管理事業) 62,574,726 円  
障がいのある人の自立、社会参加の促進及び地域における交流啓発の拠点である市立障害者福祉センターの運営管理について指定管理者として実施しました。

#### 1) 障害者福祉センター運営検討委員会

障がいのある人の自立と社会参加の促進ならびに、障がいのある人もない人も、すべての市民が共に集い、交流の推進を図る「共生型センター」としての「アイ愛センター」のあり方や必要な取り組み等について、市、地域住民、関係団体、専門職、ボランティア団体等の多様な関係機関とともに、令和3(2021)年度の第1回、第2回に続き、継続した検討を行いました。委員の皆様からいただいた意見や提案を踏まえ、今後のセンターの取り組みを積極的に進めています。

| 開催回数・日時                  | 参加者 | 議 題   |
|--------------------------|-----|---|
| 第2回 8月4日<br>10:00~12:00  | 7人  | ・障がいのある人もない人も共に楽しみ活動できる「共生型センター」として必要な取り組みについて<br>・地域の資源として、市民（地域）活動に、より活用いただける働きかけや障害者福祉センターのあり方について |
| 第4回 9月29日<br>10:00~12:00 | 9人  | ・福祉人材の確保・人材育成に向けて、障害者福祉センターが担う役割について<br>・これからの障害者福祉センターに求められるものについて                                   |
| 第5回 2月28日<br>13:30~15:00 | 6人  | 2年間の運営検討委員会のご報告（総括）   |

#### 2) 部屋等貸出事業<施設利用状況>

##### ① 障害者福祉センター（専用貸出部分・一部一般利用含む）

| 区 分                 | 1 階     |             |       | 2 階 |           |          |           |             |             | 3 階      |           | 小計① |        |
|---------------------|---------|-------------|-------|-----|-----------|----------|-----------|-------------|-------------|----------|-----------|-----|--------|
|                     | プー<br>ル | フィット<br>ルーム | ADL室  | 会議室 | 集会<br>研修室 | 多目<br>的室 | 調理<br>実習室 | 加チャ<br>ールム1 | 加チャ<br>ールム2 | 大集<br>会室 | 屋上<br>訓練場 |     |        |
| 2020<br>年度          | 利用件数(件) | 298         | 226   | 158 | 265       | 469      | 550       | 169         | 286         | 226      | 437       | 38  | 3,122  |
|                     | 利用人数(人) | 1,441       | 1,389 | 982 | 1,780     | 5,607    | 3,174     | 1,601       | 2,548       | 1,589    | 6,834     | 559 | 27,504 |
| 2021<br>年度          | 利用件数(件) | 365         | 253   | 20  | 295       | 563      | 674       | 230         | 348         | 286      | 457       | 39  | 3,530  |
|                     | 利用人数(人) | 1,816       | 1,754 | 45  | 1,890     | 6,112    | 3,886     | 1,985       | 3,154       | 1,996    | 7,340     | 745 | 30,723 |
| 令和4<br>(2022)<br>年度 | 利用件数(件) | 427         | 456   | 6   | 439       | 679      | 741       | 63          | 466         | 424      | 153       | 49  | 3,903  |
|                     | 利用人数(人) | 2,211       | 3,622 | 27  | 3,538     | 8,973    | 5,250     | 1,136       | 5,180       | 3,768    | 2,899     | 711 | 37,315 |

② 障害者デイサービスセンター（専用貸出部分）

| 区 分             |             | 芝生広場 | 陶芸室 | 小 計② | 合計（小計①+②） |
|-----------------|-------------|------|-----|------|-----------|
| 令和2<br>(2020)年度 | 利用件数<br>(件) | 26   | 60  | 86   | 3,208     |
|                 | 利用人数<br>(人) | 171  | 229 | 400  | 27,904    |
| 令和3<br>(2021)年度 | 利用件数<br>(件) | 37   | 79  | 116  | 3,646     |
|                 | 利用人数<br>(人) | 253  | 355 | 608  | 31,331    |
| 令和4<br>(2022)年度 | 利用件数<br>(件) | 8    | 28  | 36   | 3,939     |
|                 | 利用人数<br>(人) | 48   | 175 | 223  | 37,538    |

※ 令和4(2022)年度：開館日300日、1日当たり利用者数約125人

※ 7月1日～3月31日は、デイサービスセンター改修工事のため2階調理実習室、3階大集会室利用。貸室の利用を中止。

3) 福祉情報提供事業

障害者福祉センター独自の機関紙「ポテトサラダ」を発行し、センターの事業や講座、教室などの案内やイベント等に関する情報提供、並びに伊丹市の行政情報などの障がい者に必要な福祉情報を、ボランティアの協力を得て提供しました。

①ポテトサラダ（アイ愛センター情報紙）の発行

発行回数：11回 発行日：毎月15日（1・2月は合併号）

仕様等：A4版・2色刷り 発行部数：4,000部

配付先：\*福祉公共施設・団体・学校・駅、地域活動支援センター・小規模作業所等

\*アイ愛カルチャー・障害者デイサービスセンター登録者

\*民生委員児童委員・ボランティア

②障がい者向け福祉情報

| 種 類             | 形 態       | 対 象 者   | 発行回数 | 発行数／1回 |
|-----------------|-----------|---------|------|--------|
| ポテトサラダ(センター情報誌) | 録音(デージー)  | 視覚障がい者  | 11回  | 35本    |
| 市広報伊丹           | 録音(デージー)  | 視覚障がい者  | 24回  | 35本    |
| 情報番組伊丹だより       | テロップ(DVD) | 聴覚障がい者等 | 1回/週 | 1本     |
| 市議会だより          | 録音(デージー)  | 視覚障がい者  | 4回   | 35本    |
| ふじわラジオ          | テロップ      | 聴覚障がい者等 | 12回  | 1本     |

4) 文化・スポーツ教室事業

障がい者の生きがいづくりと健康維持をサポートし、日常生活をより活動的で豊かに、主体的に楽しむきっかけづくりとして、アイ愛カルチャーを実施しました。

① 登録人数…275人（前年度232人）

（肢体107・視覚24・聴覚19・内部5・知的84・精神36）



②教室

| 教室名                |                | 回数<br>(回) | 障がい別参加者数(人) |     |     |    |     |     |       | ボランティア<br>見学者等 | 合計<br>(人) |
|--------------------|----------------|-----------|-------------|-----|-----|----|-----|-----|-------|----------------|-----------|
|                    |                |           | 視覚          | 聴覚  | 肢体  | 内部 | 知的  | 精神  | 計     |                |           |
| 文化教室(場所:アイ愛センター)   |                |           |             |     |     |    |     |     |       |                |           |
| 1                  | 華道             | 8         | 0           | 5   | 10  | 0  | 7   | 4   | 26    | 13             | 39        |
| 2                  | たのしい英会話        | 10        | 0           | 0   | 46  | 7  | 1   | 18  | 72    | 1              | 73        |
| 3                  | 絵手紙            | 10        | 0           | 10  | 31  | 3  | 1   | 3   | 48    | 11             | 59        |
| 4                  | スマイルハーモニー      | 8         | 28          | 0   | 60  | 3  | 0   | 3   | 94    | 36             | 130       |
| 5                  | 陶芸             | 5         | 0           | 0   | 5   | 0  | 0   | 5   | 10    | 6              | 16        |
| 6                  | 茶道             | 8         | 0           | 1   | 51  | 2  | 2   | 1   | 57    | 9              | 66        |
| 7                  | 書を楽しむ          | 10        | 0           | 28  | 57  | 9  | 0   | 0   | 94    | 3              | 97        |
| 8                  | 楽しい朗読          | 8         | 0           | 0   | 66  | 5  | 3   | 4   | 78    | 3              | 81        |
| 9                  | 歌謡             | 10        | 0           | 28  | 57  | 9  | 0   | 0   | 94    | 3              | 97        |
| 10                 | アトリエカラフル       | 10        | 0           | 9   | 53  | 6  | 12  | 14  | 94    | 2              | 96        |
| 11                 | おとなのぬり絵        | 10        | 0           | 9   | 67  | 4  | 6   | 5   | 91    | 7              | 98        |
| 12                 | やきたてパン作り       | 1         | 1           | 0   | 1   | 0  | 3   | 0   | 5     | 2              | 7         |
| 13                 | 押し花            | 4         | 0           | 3   | 20  | 0  | 3   | 0   | 26    | 10             | 36        |
| 14                 | “ｸﾗﾌﾞ”を楽しむ     | 4         | 0           | 3   | 18  | 0  | 0   | 0   | 21    | 3              | 24        |
| 15                 | お菓子作り          | 1         | 1           | 0   | 1   | 0  | 1   | 0   | 3     | 1              | 4         |
| 小計                 |                | 107       | 30          | 96  | 543 | 48 | 39  | 57  | 813   | 110            | 923       |
| スポーツ教室(場所:アイ愛センター) |                |           |             |     |     |    |     |     |       |                |           |
| 16                 | ウォーターフィット      | 7         | 0           | 12  | 24  | 6  | 1   | 1   | 44    | 7              | 51        |
| 17                 | ズンバゴールド        | 10        | 7           | 0   | 5   | 1  | 30  | 10  | 53    | 40             | 93        |
| 18                 | ヨーガ            | 10        | 23          | 11  | 40  | 7  | 0   | 0   | 81    | 47             | 128       |
| 19                 | スポーツヘルス吹矢      | 7         | 0           | 0   | 36  | 3  | 0   | 0   | 39    | 21             | 60        |
| 20                 | 健康体操           | 10        | 15          | 0   | 21  | 6  | 0   | 2   | 44    | 16             | 60        |
| 21                 | 車いすテニス         | 7         | 0           | 0   | 18  | 0  | 0   | 0   | 18    | 25             | 43        |
| 22                 | フライングディスク      | 2         | 0           | 0   | 3   | 0  | 2   | 0   | 5     | 8              | 13        |
| 23                 | バスケットボール       | 8         | 0           | 0   | 0   | 0  | 66  | 0   | 66    | 74             | 140       |
| 24                 | RyoのフットエクササイズA | 10        | 9           | 8   | 28  | 6  | 0   | 4   | 55    | 13             | 68        |
| 25                 | RyoのフットエクササイズB | 10        | 0           | 13  | 54  | 0  | 0   | 4   | 71    | 10             | 81        |
| 26                 | 卓球             | 9         | 0           | 0   | 38  | 5  | 39  | 22  | 104   | 30             | 134       |
| 27                 | ピンキーボール体操      | 9         | 0           | 8   | 77  | 10 | 0   | 3   | 98    | 6              | 104       |
| 28                 | めだか教室(水泳初級)    | 8         | 0           | 0   | 8   | 0  | 39  | 0   | 47    | 39             | 86        |
| 29                 | めだか教室(水泳中級)    | 8         | 0           | 0   | 0   | 0  | 29  | 0   | 29    | 0              | 29        |
| 小計                 |                | 115       | 54          | 52  | 352 | 44 | 206 | 46  | 754   | 336            | 1,090     |
| 合計                 |                | 222       | 84          | 148 | 895 | 92 | 245 | 103 | 1,567 | 446            | 2,013     |

## 5) 研修事業

市民及び福祉事業従事者を対象にボランティア養成講座並びに従事者研修を実施しました。  
(修了者は8割以上出席者)

| No.               | 講座名                      | 実施回数<br>(回) | 参加実<br>人数<br>(人) | 参加延<br>人数<br>(人) | 修了者数<br>(人) | 出席率<br>(%) |
|-------------------|--------------------------|-------------|------------------|------------------|-------------|------------|
| <b>ボランティア養成講座</b> |                          |             |                  |                  |             |            |
| 1                 | 手話ボランティア入門講座（入門課程・昼間）    | 20          | 11               | 184              | 9           | 83.6       |
| 2                 | 手話ボランティア入門講座（入門課程・夜間）    | 20          | 13               | 186              | 8           | 71.5       |
| 3                 | 手話ボランティア入門講座（基礎課程・昼間）    | 20          | 7                | 114              | 4           | 81.4       |
| 4                 | 手話ボランティア入門講座（基礎課程・夜間）    | 20          | 14               | 222              | 9           | 79.2       |
| 5                 | 点訳ボランティア入門講座             | 7           | 6                | 40               | 6           | 95.2       |
| 6                 | 音訳（朗読）ボランティア入門講座         | 8           | 9                | 69               | 9           | 95.8       |
| 7                 | パラスポーツ体験交流会              | 1           | 8                | 8                | -           | 100        |
| 小 計               |                          | 96          | 68               | 823              | 45          |            |
| <b>従 事 者 研 修</b>  |                          |             |                  |                  |             |            |
| 8                 | 手話通訳者・奉仕員現任研修（手話ケース検討会議） | 10          | 19               | 125              | -           | 65.7       |
| 9                 | 手話奉仕員・通訳者レベルアップ研修        | 10          | 14               | 109              | -           | 77.8       |
| 10                | 医療機関手話通訳者現任研修            | 5           | 13               | 53               | -           | 81.5       |
| 11                | 要約筆記従事者現任研修              | 3           | 8                | 15               | -           | 62.5       |
| 12                | 移動支援従事者現任研修              | 1           | 11               | 11               |             |            |
| 小 計               |                          | 29          | 65               | 313              | -           | -          |
| <b>公 開 講 座</b>    |                          |             |                  |                  |             |            |
| 13                | LGBTQ、性の多様性について          | 1           | 32               | 32               |             |            |
| 小 計               |                          | 1           | 32               | 32               | -           | -          |
| 合 計               |                          | 126         | 165              | 1,168            | 45          |            |

## 6) 自立生活プログラム 実施日時：2月23日 14:00～15:30

『一人暮らし』に向けて、実際に地域で一人暮らしをされている障がい当事者をアドバイザーに招き、実際の生活の場をご紹介いただきながら、重度の身体障がいのある方が地域で生活していく上でのポイントや、実際に生活される中で新たに気付いた生活課題、また、それに対する工夫や対策などをお話し頂き、参加者とともに情報交換を行いました。

## 7) ADLルームの活用

ADLルームでの体験を通じて、自立した生活に向け、生活面や経済面等の環境を理解し、成功体験につなげる取り組みとして、地域生活支援拠点の体制整備における「体験の機会・場の提供」としての役割を担いましたが、令和4(2022)年度の利用者はありませんでした。

(2) 在宅福祉サービス事業

1) 移動支援従事者（ガイドヘルパー）派遣事業（伊丹市委託事業） 3,478,520 円

脳性まひ等の全身性障がい者への社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動、社会参加のための外出支援や、知的障がい者及び精神障がい者で、単独外出が困難な場合の社会参加支援を目的に「障がい者移動支援従事者」を派遣しました。

派遣実績

| 区 分         | 対象者   |           |     | 派遣件数   |      |     |
|-------------|-------|-----------|-----|--------|------|-----|
|             | 肢体    | 知的        | 精神  | 肢体     | 知的   | 精神  |
| 令和2(2020)年度 | 4人    | 26人       | 0人  | 3件     | 383件 | 0件  |
| 令和3(2021)年度 | 4人    | 26人       | 0人  | 2件     | 255件 | 0件  |
| 令和4(2022)年度 | 4人    | 26人       | 0人  | 3件     | 264件 | 0件  |
| 区 分         | 派遣時間  |           |     | 登録ヘルパー |      |     |
|             | 肢体    | 知的        | 精神  | 肢体     | 知的   | 精神  |
| 令和2(2020)年度 | 7.0時間 | 1,346.0時間 | 0時間 | 38人    | 36人  | 10人 |
| 令和3(2021)年度 | 6.0時間 | 821.0時間   | 0時間 | 15人    | 20人  | 4人  |
| 令和4(2022)年度 | 8.0時間 | 791.0時間   | 0時間 | 18人    | 23人  | 5人  |

2) 手話通訳者派遣事業（伊丹市委託事業） 2,354,351 円

聴覚障がい者等が社会生活において必要不可欠な外出の際、円滑な意思疎通を図るために、手話通訳者を派遣することで、意思の伝達手段を確保しています。令和2(2020)年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため会合やイベント開催が減少し、派遣件数も減少傾向にありましたが、令和4(2022)年度からは開催数が増加しています。

| 区 分         | 派遣件数 | 派遣時間    | 手話通訳者 |
|-------------|------|---------|-------|
| 令和2(2020)年度 | 275件 | 616時間   | 30人   |
| 令和3(2021)年度 | 341件 | 796時間   | 31人   |
| 令和4(2022)年度 | 413件 | 1,169時間 | 37人   |

3) 要約筆記者等派遣事業（伊丹市委託事業） 2,226,156 円

中途失聴者、難聴者が、地域生活または社会生活を営む上で必要な意思疎通を行うため、要約筆記者等を派遣することにより社会参加の支援を行っています。令和2(2020)年度以降は新型コロナウイルス感染拡大防止のため会合やイベント開催が減少し、派遣件数も減少傾向にありましたが、令和4(2022)年度からは開催数が増加しています。

| 区 分         | 派遣件数 | 派遣時間  | 要約筆記者等 |
|-------------|------|-------|--------|
| 令和2(2020)年度 | 17件  | 278時間 | 13人    |
| 令和3(2021)年度 | 75件  | 421時間 | 12人    |
| 令和4(2022)年度 | 85件  | 612時間 | 13人    |

4) 知的・全身性障害者移動支援従業者養成講座（ガイドヘルパー養成事業）

兵庫県の認可を受け、知的・全身性障害者移動支援従事者養成講座（ガイドヘルパー養成講座）を実施しました。

実施期間：1月13日～2月4日（5回）

受講者数：4人（県認定の修了証交付者）

5) 車いす貸出事業

一時的な身体の機能障がい等により日常生活に支障のある方、又はその家族等に車いすを貸出し、生活の質の向上を図るとともに、家族の介護負担の軽減等、在宅生活を支援しました。（貸出料金：日額100円、月額1,000円）

保有台数：45台（令和3(2021)年度：45台）

貸出件数：346件（令和3(2021)年度317件）

## 2. 「心のバリアフリー」障がいのある人もない人もすべての人が相互に理解を深め、共に参加し活動できる場づくり(交流)

(1) 交流・啓発事業

在宅障がい者の社会参加を促進するとともに、市民への障がい者理解の啓発を推進するために各種事業を実施していますが、令和4(2022)年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じつつ、規模を縮小するなどの工夫を行うことで、令和3(2021)年度に比べ、実施回数が増加しました。

| 区 分                | 対 象 者  | 回 数<br>(回) | 参加者数<br>(延/人)     | 内 容  |
|--------------------|--------|------------|-------------------|--|
| ヒヨコ探検教室            | 肢体障がい者 | 1          | 5                 | 社会見学バスツアー                                    |
| マンボウ教室             | 知的障がい者 | 1          | 12                | 社会見学バスツアー                                    |
| 自立のための生活講座         | 精神障がい者 | 3          | 47                | ①「ヨガ」体験。②「腸活」講義。③「依存症」講義。精神障がい者地域生活検討会と協働実施。 |
| クリスマス会             | 全障がい者  | 1          | 15                | スポーツなどを楽しむ。<br>ボランティアグループつばさと共催で実施           |
| 伊丹青い鳥学級            | 視覚障がい者 | 1          | 12                | 三味線鑑賞、落語鑑賞                                   |
| 阪神青い鳥学級北支部<br>三田教室 | 視覚障がい者 | 3          | 29<br>(伊丹市<br>在住) | 陶芸体験、音楽鑑賞等                                   |
| 伊丹くすの木学級           | 聴覚障がい者 | 2          | 35                | 市立伊丹ミュージアム見学、「けいわんについて」講義                    |
| 合 計                |        | 12         | 155               |  |

1) 作品展等

| 区 分       | 対 象 者              | 回 数(回) | 出展数(点) | 内 容  |
|-----------|--------------------|--------|--------|------|
| 障がい児・者作品展 | 市内在住、在学、在勤の障がいのある人 | 1      | 約100点  | 作品展示 |

2) 手をつなぐ夏の夕べ (※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

毎年、障がいのある人もない人も、子どもから高齢者まで、アイ愛センターを通じて誰もが楽しみ、ともに交流できるイベントとして開催していますが、令和4(2022)年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

3) フェスタ・イン・いたみ

毎年、12月3日から9日の「障害者週間」を記念して、障がいのある人もない人も、子どもから高齢者まで、アイ愛センターを通じて誰もが楽しみ、ともに交流できるイベントとして「フェスタ・イン・いたみ」を開催しています。令和4(2022)年度は、障がい者関係団体等の出店ブースとパラスポーツをゲーム感覚で体験して楽しんでいただく内容で開催しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年よりも規模を縮小しての開催となりましたが、約300人の方にご来場いただきました。

実施日：12月10日 場所：障害者福祉センター 参加人数：約300人

内容：障がい者関係団体、障がい者サービス事業所、ボランティアグループ等によるフリーマーケット、パラスポーツ体験ブース（ボッチャ、ブラインドサッカー、モルックをゲーム感覚で体験）

(2) 障害者デイサービスセンターの管理運営 (伊丹市指定管理事業) 161,954,477円

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）の「生活介護」及び「自立訓練」の給付を受けた在宅重度障がい者への日中活動支援及び機能訓練を行う「障害者デイサービスセンター」の運営管理を指定管理者として実施しました。なお、令和4(2022)年度は、デイサービスセンター棟の大規模改修工事のため、7月12日～3月25日まで、障害者福祉センターで実施しました。

1) 登録人数<年度4月現在> (単位：人)

| 区 分 | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 |
|-----|-------------|-------------|-------------|
| 人 数 | 81          | 76          | 72          |

2) 利用状況

| 区 分     | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 |
|---------|-------------|-------------|-------------|
| 実施日数(日) | 240         | 241         | 234         |
| 利用者数(人) | 5,969       | 5,537       | 5,180       |

3) 利用拒否等の件数及び理由に関する事項

| 区 分     | 令和2(2020)年度 | 令和3(2021)年度 | 令和4(2022)年度 |
|---------|-------------|-------------|-------------|
| 件 数 (件) | 0           | 0           | 0           |

4) 利用者内訳

(単位：人)

| 主な障害    | 総 数 | 男 性 | 女 性 |
|---------|-----|-----|-----|
| 脳性まひ    | 36  | 19  | 17  |
| 脳内血管等障害 | 8   | 4   | 4   |
| 脊髄性障害   | 5   | 4   | 1   |
| 水頭症     | 2   | 1   | 1   |
| その他     | 21  | 10  | 11  |
| 合計      | 72  | 38  | 34  |

5) 理学療法士による訓練

生活介護（個別・集団）： 210日 756人（前年度160日 659人）

伊丹市機能訓練事業（個別）：95日 495人（前年度 77日 360人）

※なお、伊丹市機能訓練事業については、伊丹恒生脳神経外科、YOU医療保健福祉研究所と協働・連携しつつ、市内の障がい者へ、理学療法、作業療法その他必要なリハビリテーション、生活等に関する相談等の必要な支援を実施しました。

6) 生活介護＜日中活動＞

障がいの程度によって分かれた3つのグループでの集団活動を中心に、ストレッチ・創作活動・スポーツ活動・レクリエーション活動・個人プログラム等を実施しました。

| 区 分         | 実施日数 | 実施単位   | 利用延人数   | 1日平均    | 単位平均    |
|-------------|------|--------|---------|---------|---------|
|             | (A)  | 半日 (B) | (C)     | C/A 実人数 | C/B 実人数 |
| 令和2(2020)年度 | 240日 | 480単位  | 11,931人 | 49.7人   | 24.9人   |
| 令和3(2021)年度 | 241日 | 482単位  | 11,064人 | 45.9人   | 22.9人   |
| 令和4(2022)年度 | 234日 | 468単位  | 10,360人 | 44.3人   | 22.1人   |

7) 生活介護＜給食・入浴・送迎サービス＞

| 区 分         | 給食サービス |        | 入浴サービス |        | 送迎サービス |         |
|-------------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
|             | 実施日数   | 利用人数   | 実施日数   | 利用人数   | 実施日数   | 利用人数    |
| 令和2(2020)年度 | 240日   | 5,137人 | 240日   | 2,018人 | 240日   | 10,319人 |
| 令和3(2021)年度 | 241日   | 4,740人 | 241日   | 1,813人 | 241日   | 9,740人  |
| 令和4(2022)年度 | 234日   | 4,495人 | 234日   | 1,514人 | 234日   | 9,110人  |

## 8) 生活介護<年間行事>

| 行 事 名         | 実施日・回数    | 内 容                                 |
|---------------|-----------|-------------------------------------|
| お花見           | 4月初旬      | 昆陽池公園 各グループで随時実施                    |
| ケーキバイキング      | 6月17日     | ケーキ(数種類)、ゼリー、プリン、ムースなどから選択・飲み物      |
| 合同イベント        | 10月20日    | ゲーム大会                               |
| 年末イベント        | 12月6日     | 3グループ合同プログラム(忘年会)                   |
| オープンデイ        | 3月3日      | 落語、歌等の演芸                            |
| 内科検診          | 毎月1回      | 嘱託医(内科)                             |
| 整形相談          | 毎月2回      | 嘱託医(整形外科)                           |
| 言語聴覚士相談       | 毎月1回      | 摂食、嚥下等に関する相談、アドバイス                  |
| 家族会           | 10回       | 状況報告と家族との意見交換他                      |
| 職員研修(内部研修)    | 4月22日     | 職員全体研修(床走行式リフトの操作法研修、緊急時対応、事例検討の実施) |
| 実習生受け入れ       | 8月25日~27日 | 社会福祉士資格取得実習(4人)                     |
| ボランティアの受け入れ   | 延べ13回     | 包丁研ぎ(2回)、あて布切り(11回)                 |
| 市民オンブズマンによる視察 | 9回        | NPO法人伊丹アドボカシーネットワーク                 |

※障害者デイサービスセンターでの行事等については、令和3(2021)年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、社会見学をはじめクラブ活動、地域住民との交流などは中止しました。一方、感染防止対策を行いながら、可能な範囲で行事を再開し、利用者の皆様とともに楽しめる取り組みを行いました。

※ボランティアの受け入れについては、徐々に再開することができ、つながりを持つ機会を設けることができました。

## 3. 「働く」をテーマにした取り組みの推進(就労)

### (1) 障害者就労支援事業 (伊丹市委託事業) 12,346,911円

障害者福祉センターの管理業務の一環として、障がい者の雇用の促進等に関する法律の趣旨に基づき、伊丹市内に居住する知的障がい者が、その有する能力を有効に発揮することができるよう一人ひとりの個性に配慮した雇用の促進を図ることを目的に、主にセンター内の清掃等、環境美化業務を中心に行う「障害者就労支援事業」を実施しました。

### (2) 障がい者就労支援

《※再掲：48ページから51ページの推進目標3-4-(5)地域生活支援センター》

障がいのある人が生きがいをもって自立した生活ができるよう就労に向けた相談・支援を実施しました。

#### 1) 就労相談

総合相談の一環として、障がいのある人の就労に伴う相談・支援を実施しました。

## 2) 就労支援・職場開拓

一般就労の更なる促進のため、相談・求人開拓等に取り組みました。

### ①職場開拓等

ハローワーク伊丹と協働し、一般就労に結びつけるために職場開拓および実習先確保等に取り組みました。

### ②職場実習支援

就職に向けて障がいのある人が、多くの職種を体験するとともに、職場環境に順応できるように職場実習を支援しました。

### ③職場定着支援

就職されている障がいのある人に、仕事のことや職場での対人関係などの相談、生活面の相談、復職する際の相談支援なども含んだ職場定着支援を行いました。

### ④就労サポーターによる就労支援

職場実習等を含む就労準備支援から職場での人間関係や仕事の習得に対する不安解消のため継続的に職場定着支援を行う「就労サポーター」を平成28(2016)年度から2人配置しました。

## 3) 関係機関との連携

相談支援事業所として、様々な関係機関等との連携を積極的に行い、就労支援に係る職場実習の調整やネットワークの構築に取り組みました。

### ①行政との連携

伊丹市障害者地域自立支援協議会の事務局として、障がい者就労支援体制の整備等に向けた協議や検討に取り組みました。また、伊丹市が実施する「障害者就労チャレンジ事業」をバックアップし、対象者の能力把握、相談対応、各関係機関等の連絡調整を行いました。

### ②教育機関との連携

兵庫県立こやの里特別支援学校、兵庫県立阪神昆陽特別支援学校の進路相談会への参加し教育機関との連携を図りました。さらに、こやの里特別支援学校においては、保護者向けの地区懇談会に参加し、伊丹市における障がいのある人への就労支援の現況を報告しました。また、令和2(2020)年度より発足した「阪神発達障害学生就職支援ネットワーク研修」に参加しました。大学等学校関係職員より、具体的なケース相談を通じ、連携、対応を図るなど、教育機関との支援ネットワークも広がっています。

### ③伊丹しごとネットワーク

伊丹しごとネットワークでは、障害者の就労支援に向けチーム支援の推進と支援者のスキルアップを目的に、様々な関係機関等との連携を積極的に行い、支援ネットワークの構築に取り組みました。伊丹市障害福祉課・阪神北障害者就業・生活支援センターとともに事務局を担い、市内障害福祉サービス事業所等と運営会議を開催し(5回)、情報交換やスキルアップに向けた研修等の企画などの協議を重ね、計3回実施しました。

### ④阪神北及び阪神南圏域の就労支援機関との連携

阪神北障害者就業・生活支援センターとの連絡会を計6回実施し、具体的なケースを通



じて、情報共有や今後の支援体制のあり方について検討しました。また、阪神北県民局圏域で開催された「阪神北圏域障害者雇用・就業支援ネットワーク会議」（2回）や「阪神北圏域連絡会」（2回）に参加し、コロナ禍における就労支援や、情報共有、今後の支援体制のあり方等について圏域内での連携を深めました。一方、阪神北県民局と阪神北障害者就業・生活支援センターが主催する「阪神北地域障害者就労支援シンポジウム」には、協力団体として参加しました。

また令和3(2021)年度より始まった「阪神地域障害者就労支援センター情報交換会」（1回）に参加し、障害年金や家計相談支援について知識を深め、阪神地域の就労支援機関との連携を図りました。

#### 4) 当事者向け就労支援研修会の開催

就職に向けて、スキルアップやモチベーションの向上を目的に「障がいのある方のステップアップ講座」を開催しました。自分は何のために働くのか、就職に向けてどんな準備が必要になるのか等、自分自身の強みや課題を知り今後の就職に向けて活用いただく機会としました。また参加いただきやすいよう、同日に時間帯を変え2回実施しました。

#### 5) 普及啓発

「伊丹市地域生活支援センター通信」（1回）を発行し、伊丹商工会議所の協力を得て、企業2,000社に配布しました。関係企業の協力を得て、障害者雇用をしている企業アンケート結果から考える就労準備について掲載し、企業への普及啓発に取り組みました。

## 4. 相談、緊急時の受け入れ・対応の検討（安心）

|               |             |             |
|---------------|-------------|-------------|
| (1) 障害者生活支援事業 | (伊丹市委託事業)   | 12,270,759円 |
|               | (指定特定相談事業所) | 2,857,676円  |

障がい者とその家族の地域における生活を支援し、在宅障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、関係機関と連携しつつ、障害福祉サービスの利用やその他関連施策、専門機関に関する情報提供、社会資源の活用支援、社会生活を高めるための支援、専門職による相談支援等の総合的な相談支援を行いました。

#### 1) サービス利用援助・社会資源活用の支援

##### ① 専門相談 医師等の専門職による相談を実施 (単位：件)

| 区分          | 精神<br>(児童) | 精神<br>(成人) | 心理 | 理学<br>療法士<br>(PT) | 作業<br>療法士<br>(OT) | 看護  | 権利<br>擁護 | 言語<br>聴覚士<br>(ST) | 計     |
|-------------|------------|------------|----|-------------------|-------------------|-----|----------|-------------------|-------|
| 令和2(2020)年度 | 100        | 32         | 2  | 249               | 23                | 831 | 1        |                   | 1,238 |
| 令和3(2021)年度 | 108        | 29         | 4  | 38                | 25                | 804 |          | 60                | 1,068 |
| 令和4(2022)年度 | 105        | 33         | 2  | 2                 | 29                | 890 |          | 59                | 1,120 |

※令和3(2021)年度で権利擁護相談を終了し、新たに言語聴覚士相談を実施

##### ② 生活相談及びピア・カウンセリング

(生活相談)

(単位：件)

| 項目別            | 視覚  | 聴覚 | 肢体    | 内部 | 知的  | 精神 | 児童 | 他  | 合計    |
|----------------|-----|----|-------|----|-----|----|----|----|-------|
| ① 障害福祉サービスの利用  | 256 | 0  | 1892  | 14 | 175 | 3  | 2  | 16 | 2,358 |
| ② その他の福祉サービス利用 | 41  | 0  | 81    | 0  | 1   | 2  | 0  | 0  | 125   |
| ③ 地域生活への移行     | 0   | 0  | 2     | 1  | 0   | 0  | 0  | 1  | 4     |
| ④ 家庭生活         | 31  | 0  | 112   | 0  | 29  | 2  | 2  | 17 | 193   |
| ⑤ 社会生活         | 3   | 0  | 17    | 0  | 9   | 1  | 2  | 1  | 33    |
| ⑥ 社会参加         | 76  | 2  | 9     | 0  | 5   | 2  | 3  | 4  | 101   |
| ⑦ 権利擁護・成年後見    | 0   | 0  | 28    | 0  | 25  | 0  | 0  | 0  | 53    |
| ⑧ 経済関連         | 5   | 0  | 5     | 0  | 1   | 0  | 0  | 1  | 12    |
| ⑨ 就 労          | 4   | 0  | 22    | 0  | 97  | 1  | 0  | 1  | 125   |
| ⑩ 介 護          | 0   | 0  | 4     | 0  | 0   | 0  | 0  | 1  | 5     |
| ⑪ 住 宅          | 0   | 0  | 4     | 0  | 2   | 0  | 0  | 23 | 29    |
| ⑫ 医 療          | 6   | 0  | 170   | 0  | 1   | 1  | 0  | 9  | 187   |
| ⑬ 療育関連         | 0   | 0  | 0     | 0  | 0   | 0  | 13 | 0  | 13    |
| ⑭ 進 路          | 0   | 0  | 0     | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  | 0     |
| ⑮ 意見・要望        | 0   | 0  | 0     | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  | 0     |
| ⑯ その他          | 24  | 1  | 44    | 2  | 4   | 2  | 7  | 25 | 109   |
| 合 計            | 446 | 3  | 2,390 | 17 | 349 | 14 | 29 | 99 | 3,347 |

(ピア・カウンセリング)

(単位：件)

| 項目別            | 視覚 | 聴覚 | 肢体 | 内部 | 知的 | 精神 | 児童 | 他 | 合計 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|---|----|
| ① 障害福祉サービスの利用  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0 | 2  |
| ② その他の福祉サービス利用 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0 | 1  |
| ③ 地域生活への移行     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0 | 0  |
| ④ 家庭生活         | 1  | 0  | 4  | 0  | 0  | 4  | 2  | 0 | 11 |
| ⑤ 社会生活         | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 12 | 3  | 0 | 17 |
| ⑥ 社会参加         | 2  | 0  | 16 | 0  | 2  | 4  | 0  | 1 | 25 |
| ⑦ 権利擁護・成年後見    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0 | 0  |
| ⑧ 経済関連         | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0 | 0  |
| ⑨ 就 労          | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0 | 0  |
| ⑩ 介 護          | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0 | 0  |
| ⑪ 住 宅          | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0 | 0  |
| ⑫ 医 療          | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0 | 1  |
| ⑬ 療育関連         | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0 | 1  |
| ⑭ 進 路          | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0 | 1  |
| ⑮ 意見・要望        | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0 | 0  |
| ⑯ その他          | 0  | 2  | 8  | 0  | 0  | 2  | 0  | 0 | 12 |
| 合 計            | 3  | 3  | 31 | 0  | 2  | 24 | 7  | 1 | 71 |

### ③ピア・サポーター会議及び研修会

ピア・カウンセリング（同じ障がいを持つ仲間の相談）のサポーター（相談員）の情報共有、意見交換等を目的とした会議を実施しました。また、ピアカウンセリングについて近隣市との交流会を開催し、それぞれのピアカウンセリングの実施内容の共有や今後必要な取り組み等について意見交換を行いました。

| 定例会議        | 参加人数 | 主な内容            |
|-------------|------|-----------------|
| 第1回目（5月17日） | 7人   | それぞれの障害について     |
| 第2回目（3月2日）  | 8人   | 宝塚市のピアサポーターとの交流 |

## 2) 指定計画相談支援事業所の指定及び計画相談支援の実施

伊丹市より「指定特定相談支援事業所」の指定を受け、障害福祉サービスを利用する障がいのある人に対して、その心身の状況、置かれている環境等を勘案し、「サービス等利用計画」を作成するとともに、当該計画に基づいた適切な支援が確保されるよう、サービス提供事業者等の関係機関と連携し支援を行いました。

### ①利用契約件数 (単位：件)

| 区 分         | 身体障がい者 | その他 | 計 |
|-------------|--------|-----|---|
| 令和2(2020)年度 | 1      | 0   | 1 |
| 令和3(2021)年度 | 2      | 0   | 2 |
| 令和4(2022)年度 | 0      | 3   | 3 |

### ②計画作成件数 (単位：件)

| 区 分         | サービス利用支援計画 | 継続支援計画 | 計   |
|-------------|------------|--------|-----|
| 令和2(2020)年度 | 105        | 166    | 271 |
| 令和3(2021)年度 | 95         | 137    | 232 |
| 令和4(2022)年度 | 89         | 157    | 246 |

## 3) 伊丹市障害者相談支援事業所連絡会

障害福祉サービス等に関する制度情報等の共有、相談支援従業者のスキルアップに向けた取り組みを通して、相談支援事業所の連携体制の構築を図ることを目的とした「障害者相談支援事業所連絡会」に障害者福祉センターからは相談員3名が参加し、情報共有や研修、事例検討などを行いました。

| 実施日    | 内 容   |
|--------|---|
| 5月19日  | 事例を持ち寄ってのグループスーパービジョン   |
| 7月21日  | ①重層的支援体制の説明 ②コミュニティーワーカーの役割について<br>③グループスーパービジョン（事例を通して計画作成、意見交換） |
| 9月15日  | 発達障害の理解と対応についてグループスーパービジョン  |
| 11月17日 | ①拡大版事業所連絡会<br>②グループワーク「介護保険サービスと障害福祉サービスを併用しているケース」※事例を活用         |
| 1月19日  | 事例を持ち寄ってのグループスーパービジョン   |
| 3月16日  | ①「自動車事故被害者に対する自動車事故対策機構（NASVA）」について<br>②2022年度の振り返り、2023年度について    |

## 推進目標5 地域福祉推進のための体制整備

### 1. 住民主体の協議体機能を発揮した、まちづくり

#### (1) 理事会・評議員会の協議体機能の強化

理事会及び評議員会の協議体機能を高めるために、役員等研修会において、第7次地域福祉推進計画の進捗報告と各事業の課題の共有化を図るとともに、令和5(2023)年度より本格実施となる重層的支援体制整備事業についての研修を行いました。

##### 1) 理事会・評議員会・監事

本会の執行機関としての理事会及び議決機関としての評議員会等を開催しました。

①理事会 6回(4月1日※1、6月2日、8月4日、10月14日、2月9日、3月17日)

②評議員会5回(4月1日※1、6月22日、10月28日、2月22日、3月30日)

※1は書面開催

③監査 1回(5月18日)

④役員等研修会 (年2回)

1回目: 7月20日

講義「伊丹市社会福祉協議会 第7次地域福祉推進計画(発展計画)」に基づいた事業実施状況及び課題について

発表者: 社会福祉協議会担当課長

2回目: 12月16日

講義「重層的支援体制整備事業について」

講師: 兵庫県社会福祉協議会 地域福祉部長 福本良忠 氏

#### (2) 県社会福祉大会への参加

第70回兵庫県社会福祉大会が10月27日に養父市で開催され、会長他理事5名が出席しました。

#### (3) 社会福祉法人連絡協議会の実施 ※再掲

##### 1) 連絡協議会

| 月日    | 内容   | 参加法人<br>(人数)  |
|-------|--|---------------|
| 2月24日 | ①協議「今後の伊丹市社会福祉法人連絡協議会について」<br>②講義「伊丹市における重層的支援体制整備事業について」<br>講師: 伊丹市共生福祉社会推進担当主幹 丸山 孝興 氏 | 10法人<br>(13人) |

##### 2) 社会福祉法人連絡協議会代表者等連絡会への参加

日時: 3月23日 オンライン開催 参加者: 2人

内容: グループ協議

#### (4) 第7次地域福祉推進計画（発展計画）推進委員会

コロナ禍での地域福祉活動をはじめとした社会情勢の変化や、少子高齢化、人口減少、単身社会化の地域社会構造による「暮らし」の変化が急激に進む中、本会の活動指針となる「第7次地域福祉推進計画（発展計画）」の進捗状況をまずは職員間で共有しました。その中で確認した課題等を踏まえ、令和5（2023）年度より課題分析を行い、次期計画策定に向けた地域福祉推進計画（発展計画）推進委員会の立ち上げを進めていきます。

#### (5) 伊丹市地域福祉計画策定への参画

伊丹市地域福祉計画（第3次）が令和3（2021）年度から開始しましたが、共生福祉社会推進会議において本会のコミュニティワーカーが、会議のファシリテーションや助言などを行いました。

## 2. 地域福祉を推進するための人材育成

### (1) 職員内部研修の実施

毎年実施している人権研修について、「発達障害とその対応」をテーマに尼崎総合医療センター小児科医長の石原剛広医師に講義をいただき、研修を行いました。また、主査が中心となって、「人材確保・育成プロジェクト」を実施し、新規採用職員を対象とした人材育成・研修プログラムの作成を行いました。令和5年度は当プログラムに基づく研修を実施するとともに、外部研修やOJTにも積極的に取り組みます。

### (2) 職務に応じた研修参加

職務（役職・経験年数等）等に応じて、社会福祉情勢セミナー、事務局長会議、事務局長等自主勉強会等に職員を参加させました。また、会長・常務理事・事務局長による内部研修を実施しました。今後は、地域住民と協働できる専門職育成の研修を市内の社会福祉法人等とともに検討していきます。

### (3) 総合相談支援体制に向けた職員の連携強化

地域福祉推進室をはじめ、組織内での個別支援と地域支援の連携強化を図るための課題調整会議について、重層的支援体制整備事業の実施を踏まえ、その目的の整理を行いました。

（再掲：27ページ）

### (4) 職員勤務評価の実施

副主幹級以下の職員は、①7月に年度目標シートを作成、②7月下旬から8月中旬にかけて上司との面談、③12月に職務評価報告書及び職務に関する自己申告書を作成、④12月下旬から1月中旬にかけて上司との面談等を経て勤務評価を実施しました。

この勤務評価を実施することにより、職務への取り組み意欲や次年度への目標確認を職員自らが行うとともに、上司と協議できる時間を設けることで、人材育成に活用するものです。

### 3. 働きやすい職場づくりと社協職員の確保

#### (1) 中・長期的展望に立った専門職を含めた職員の適正配置

平成21(2009)年度より、社会福祉職としての専門性を活かすために、社会福祉士等の専門職の採用を行ってきました。令和4年(2022)度採用の職員には、地域福祉に関する研修の受講により、専門性を高めました。また、伊丹市役所に開設されている「伊丹市くらし・相談サポートセンター」には社会福祉士3人を引き続き出向させています。

#### (2) 衛生委員会の開催

職員の健康の保持増進を図ることを目的として、平成23(2011)年度に衛生委員会を設け、委員会を月1回開催し、職場安全衛生管理チェックや、有給休暇取得促進、時間外労働抑制、ワークライフバランスの促進、メンタルヘルスマネジメント、健康診断・ストレスチェック支援等について協議をしました。全職員を対象とした人権研修を、新型コロナ感染予防対策を図り、3年ぶりに集合形式で「発達障害とその対応」をテーマで行いました。

#### (3) 育児・介護等との両立ができる職場づくり

育児休業を取得しやすい環境整備を図るために、産後パパ育休の創設や育児休業の分割取得などの規則の改正を行いました。また、育児をしながら、就労できる働き方について、衛生委員会等で協議を行うなど、今後も、育児・介護との両立ができる職場づくりについて検討していきます。

### 4. 事務局組織体制の強化・整備

#### (1) 社協らしい指定管理事業

- 1) 伊丹市立障害者福祉センターの運営 (伊丹市指定管理事業) 62,574,726円  
障がいのある市民の自立、社会参加の促進及び地域における交流啓発の拠点である市立障害者福祉センターの運営管理を指定管理者として実施しました。

#### 2) 障害者福祉センター運営検討委員会

令和3(2021)年度に引き続き、障害者福祉センター運営委員会を開催し、障がいのある市民の自立と社会参加の促進ならびに、障がいのある人もない人もすべての市民が共に集い、交流の推進を図る「共生型のセンター」としての「アイ愛センター」の今後のあり方について、学識経験者、伊丹市、地域住民、関係団体、専門職、ボランティア団体等の様々な関係機関の皆さんにご参加いただき、意見や提案等をいただきました。令和4(2022)年度で、一旦運営委員会は終了し、委員の皆様からいただいた意見や提案を踏まえ、今後のセンターの取り組みを積極的に進めていきます。

|            |       |   |
|------------|-------|---|
| 第3回運営検討委員会 | 8月4日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある人もない人も共に楽しみ活動できる「共生型センター」として必要な取り組みについて</li> <li>・地域の資源として、市民（地域）活動に、より活用いただける働きかけや障害者福祉センターのあり方について</li> </ul> |
| 第4回運営検討委員会 | 9月29日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉人材の確保・人材育成に向けて、障害者福祉センターが担う役割について</li> <li>・その他、これからの障害者福祉センターに求められるものについて</li> </ul>                               |
| 第5回運営検討委員会 | 2月28日 | 2年間の運営検討委員会のご報告（総括）   |

### 3) 障害者デイサービスセンターの組織体制の強化

（伊丹市指定管理事業）161,954,477円

令和4(2022)年度は、デイサービスセンター棟の大規模改修工事のため、7月12日～3月25日の間、障害者福祉センター内で運営を行いました。

引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用者の安全を最優先として事業を実施します。地域活動への参加や社会見学など、積極的な社会参加活動は難しくはありましたが、3年ぶりにご家族も一緒に参加したオープンデイを実施するなど、少しずつ交流イベントの実施もできつつあります。令和5(2023)年3月25日には、大規模改修工事も終了し、新しいデイサービスセンター棟での運営を再開しました。

今後も感染防止に留意しながら、利用者が主体的に楽しめるプログラム、社会参加の取り組みを広げていきます。

### 4) 伊丹市立地域福祉総合センター（いたみいきいきプラザ）

（市指定管理事業）27,627,772円

平成18(2006)年度より市指定管理者として「市立地域福祉総合センター（いたみいきいきプラザ）」の管理運営を行っています。

開館日数…347日(前年度330日) 部屋別利用件数…2,393件(前年度2,321件)  
 利用人数…17,650人 延べ50,796人(前年度13,793人 延べ42,510人)

#### ①ロビーイベントの実施

「いたみいきいきプラザ」のロビーを活用したボランティア活動や福祉啓発事業を実施しました。

| 月 日   | 内 容                                  |
|-------|--------------------------------------|
| 4月9日  | ボランティアグループによる「バルーン教室」                |
| 4月15日 | ボランティアグループによる「防災学習会」                 |
| 4月28日 | ボランティア・市民活動センターイベント「たみとものわ～歌唱と楽器演奏～」 |
| 5月17日 | ボランティアグループによる「防災学習会」                 |
| 5月20日 | ボランティア・市民活動センターイベント「たみとものわ～ハーモニカ演奏～」 |
| 6月17日 | ボランティアグループによる「防災学習会」                 |
| 7月1日  | ボランティア・市民活動センターイベント「たみとものわ～バイオリン演奏～」 |

| 月 日    | 内 容  |
|--------|--|
| 7月15日  | ボランティアグループによる「防災学習会」                             |
| 7月20日  | ボランティアグループによる「バルーンアーチ製作」                         |
| 8月11日  | ボランティアグループによる「工作教室開催準備」                          |
| 8月26日  | ボランティア・市民活動センターイベント「たみとものわ～赤い羽根共同募金の募金箱をつくろう！！～」 |
| 9月16日  | ボランティアグループによる「防災学習会」                             |
| 10月6日  | ボランティアグループによる「こども食堂」                             |
| 10月17日 | ボランティアグループによる「防災学習会」                             |
| 10月21日 | ボランティア・市民活動センターイベント「たみとものわ～秋まつり（傘踊り・銭太鼓・民謡～）」    |
| 11月4日  | ボランティアグループによる「ひろばクラフト作り作業」                       |
| 11月16日 | 市健康政策課による「HbA1c測定会」                              |
| 11月17日 | ボランティアグループによる「防災学習会」                             |
| 12月16日 | ボランティアグループによる「防災学習会」                             |
| 12月16日 | ボランティア・市民活動センターイベント「たみとものわ～やさしい椅子ヨガ～」            |
| 1月17日  | ボランティアグループによる「防災学習会」                             |
| 1月26日  | ボランティア・市民活動センターイベント「たみとものわ～初めての終活セミナー～」          |
| 2月17日  | ボランティアグループによる「防災学習会」                             |
| 3月17日  | ボランティアグループによる「防災学習会」                             |
| 3月27日  | ボランティア・市民活動センターイベント「たみとものわ～親子防災まち歩き～」            |

・その他、定例的にロビーで実施されている活動

毎月第1・3月曜日 ボランティアグループによる「木工」

毎月第2・4火曜日 ボランティアグループによる「おもちゃ修理」  
「コーヒーの提供&絵手紙教室（第2）/手芸教室（第4）」  
ボランティア・市民活動センターによる「スマホカフェ」

毎月第2・4水曜日 「将棋サロン」

毎月第 1 火曜日 ボランティアグループによる「よりみち広場」

毎月第 3 火曜日 ボランティアグループによる「こども食堂」

## ②いたみいきいきプラザ施設運営連絡会の開催

いたみいきいきプラザの管理運営等について協議するため、入居団体等によるいたみいきいきプラザ施設運営連絡会を2回開催しました。

## ③福祉避難所としての洪水時避難訓練・防災訓練の実施

・洪水時避難訓練

実施日：3月15日 参加者：入居団体・施設利用者 40人

内 容：避難経路の確認・情報伝達訓練・垂直避難訓練



- ・総合防災訓練

実施日：3月15日 参加者：入居団体・施設利用者 40人

内 容：避難訓練・通報訓練（総合訓練）

- ・図上訓練

いたみいきいきプラザ消防・防災計画に基づき、避難経路の確認や防災管理体制の確認、火元管理責任者、自衛防災組織の確認を行いました。（実施時期：10月）

## 5. 活動財源の確保・活用

### (1) 効率的な資産管理

資産管理については、平成17(2005)年4月に、安全性を第一に効率性を考慮した資金の管理及び運用のための資産管理方針を設け、安全・確実かつ効率的に資金を保管してきました。

本会への直接寄付金については、福祉基金として積み上げており、伊丹ロータリークラブからのボランティア基金とあわせて、地域での福祉課題に対する資金として活用するため、安全運用を行っています。また、令和4(2022)年7月には、高額寄付(140,434,301円)があり、地域福祉の向上のための運用方法の検討を図ってまいります。

### (2) 会員

本会の地域福祉活動を推進する上で必要な自主財源の強化を図るため、社協活動について市民に理解と協力を求めながら会員の拡充に取り組みました。

| 年度              | 名誉会員      |           | 特別会員      |           | 団体会員      |           | 普通会員      |           | 計         |           |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
|                 | 件数<br>(件) | 金額<br>(円) | 件数<br>(件) | 金額<br>(円) | 件数<br>(件) | 金額<br>(円) | 件数<br>(件) | 金額<br>(円) | 件数<br>(件) | 金額<br>(円) |
| 令和2(2020)<br>年度 | 1         | 50,000    | 97        | 525,000   | 189       | 814,000   | 616       | 668,000   | 903       | 2,057,000 |
| 令和3(2021)<br>年度 | 1         | 50,000    | 97        | 515,000   | 185       | 806,000   | 613       | 658,000   | 896       | 2,029,000 |
| 令和4<br>(2022)年度 | 1         | 50,000    | 99        | 590,000   | 181       | 790,890   | 563       | 599,000   | 844       | 2,029,890 |

<会費の用途>自治協議会等が、住民の考え方を基本に、地域の特性を活かしながら、子ども、高齢者、障がいのある方など、住民すべてが住みよい福祉のまちづくり活動を創意と工夫をもって展開できるよう助成金として活用しました。

### (3) 善意銀行

831,281円

市民、企業から預託（付）された浄財（金銭・物品）を、善意銀行を通して様々な社会福祉活動に効果的に払出しを行い、地域福祉の向上に役立てました。

指定寄付：14件 831,281円（伊丹心身障害対策市民懇談会・市内こども食堂 他）

物品寄付：49件（お米、あて布・タオル、古切手、車いす他）

#### (4) 共同募金・歳末たすけあい募金

市民の皆様の協力を得て行われた赤い羽根共同募金活動で集まった募金は、一旦、兵庫県共同募金会に全額送金し、その内6～7割が伊丹市に配分されます。また、歳末たすけあい運動で集まった募金は、全て伊丹市で活用されています。

地域での福祉事業に活用するため、公募配分方式で配分を行いました。既存団体に加えて、受配団体等にも積極的に啓発に関わっていくように働きかけていきます。

##### 1) 赤い羽根共同募金公募配分（誰もが住みよいまちづくり助成）

自治会、市民活動団体、NPO法人、社会福祉法人、自治協議会等に対し、誰もが住みなれた地域で、安心して安全に暮らし続けることができるまちづくりを目的とした地域住民等が主体となって取り組んでいる事業や新しく取り組む事業に助成を行いました。

配分先：自治会、自治協議会等

団体数：10団体（前年度6団体） 助成金：1,653,536円（前年度562,000円）

##### 2) 歳末たすけあい運動配分

①住みなれた地域を良くしようと様々な地域福祉活動に取り組まれている団体・施設等が年末年始に実施される地域福祉事業への助成を行いました。

配分金額合計 1,860,889円（前年度1,113,459円）

《配分先》

- ・地域での福祉活動を行う団体等が実施する、地域住民が参加できる福祉活動  
自治会・住民自治組織等 28団体 1,508,404円（前年度：16団体 794,383円）
- ・地域で福祉活動を行う団体等が実施する、地域住民への福祉活動の啓発事業  
申請なし（前年度：申請なし）
- ・NPO法人、小規模作業所、社会福祉法人が実施する地域交流事業  
NPO法人 1団体 23,000円（前年度：2施設 110,571円）
- ・全市的な福祉活動への支援事業  
伊丹心身対策市民懇談会・伊丹市婦人共励会・このいけ音楽祭実行委員会  
3団体 329,485円（前年度：2団体 208,505円）

②コロナ特例貸付利用者に対する生活実態調査により、無料食糧支援に関するニーズが高いことが分かったため、償還に向けての生活困窮者への支援の一環として、11月30日に60世帯を対象に無料食糧支援事業を実施しました。

配分金額合計 195,760円

## (5) 広報活動

### 1) 職員プロジェクトチームによる事業の推進

#### ①伊丹市共生福祉社会フォーラムの開催

「共生福祉社会の実現をめざして～つながるって楽しい！支え合いの地域づくり～」をテーマに、伊丹市との共催で開催しました。

基調講演「共生福祉社会の実現をめざして

～安心して楽しい地域づくり、つながりづくり～」

講師：ご近所福祉クリエイター酒井 保 氏

座談会「つながるって楽しい！支え合いの地域づくり」

コーディネーター：ご近所福祉クリエイター 酒井 保 氏

登壇者：森近 勝行 氏（稲野自治会 会長）

原田 明 氏（西鈴原自治会 会長）

井村 正明 氏（みどりOTON-A会 代表）

#### ②市民活動情報紙「社協だより」の発行 [共同募金配分金一部充当] 445,040円

《※再掲：21ページ 推進目標2-1-(3) ボランティア活動の啓発・活性化》

本会が取り組んでいる地域福祉推進活動、ボランティア活動、赤い羽根共同募金運動等を市民に広く知っていただくために、フルカラーで市民活動情報紙「社協だより」を発行しました。会員、ボランティアや地域福祉活動者に配布するとともに、公共施設、市内のスーパーや、郵便局等に配置していただいています。8月号は、市まちづくり推進課のメール便により、自治会を通じて各戸に回覧していただきました。

発行回数：2回 発行部数：9,000部（8月号）3,000部（1月号）

配付先：自治会を通じて全戸（組）回覧（8月号）

会員、関係機関等へ郵送、地域の会議や集い場での配布

#### ③メールニュースの発行

本会の日々の活動をブログと連動させ、関係機関や市民に発信し、情報発信を行いました。また、その内容を、1週間ごとに、「伊丹市社協メールニュース」として、38回（原則週1回）発信しました。

#### ④その他

その他、事業ごとにパンフレットの作成、機関紙の発行等の広報活動を行いました。